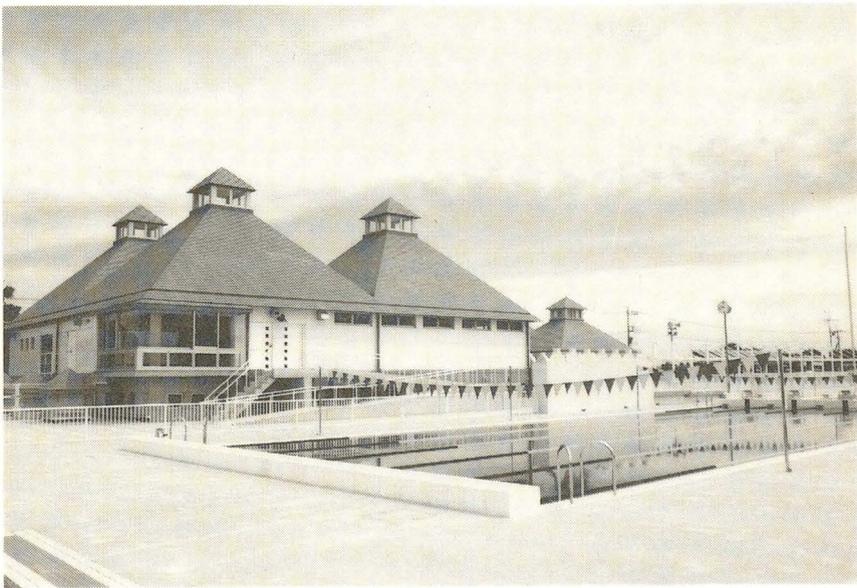


平成4年度

主要な施策の成果・基金の運用状況



日野市

日野市立図書館 ☎81-7354



185 2939

## 目 次

### 主要な施策の成果

1. 総 括 .....	1
2. 一般会計による事業 .....	7
総 務 費 .....	8
民 生 費 .....	20
衛 生 費 .....	32
労 働 費 .....	34
農 業 費 .....	36
商 工 費 .....	40
土 木 費 .....	48
消 防 費 .....	104
教 育 費 .....	108
3. 土地区画整理事業特別会計による事業 .....	131
4. 下水道事業特別会計による事業 .....	145
5. 市立総合病院事業会計による事業 .....	153
6. 受託水道事業特別会計による事業 .....	157

### 財政状況の資料

1. 各会計別決算総括表 .....	166
2. 決算額構成比（普通会計） .....	168
3. 収入の状況（普通会計） .....	170

## 正 誤 表

平成4年度主要な施設の成果・基金の運用状況  
197ページ下から1行目

正	誤
(△) 4,313円 - 1,353円 = 2,960円	4,313円 - △1,353円 = △2,960円

4. 市税の徴収実績 .....	172
5. 支出の状況（普通会計） .....	174
6. 普通建設事業の状況（普通会計） .....	176
7. 地方債現在高の状況 .....	178
8. 地方債借入先別及び利率別現在高の状況 .....	180
9. 一般会計各款・節別決算額一覧表 .....	182
10. 一般会計給与費明細書 .....	186

#### 基金の運用状況

1. 用品調達基金 .....	194
2. 国民年金印紙調達基金 .....	198
3. 国民健康保険高額療養費貸付基金 .....	200
4. 老人入院看護料貸付基金 .....	201
5. 土地開発基金 .....	202

## 主要な施策の成果

。主要な施策の成果

地方自治法第233条第4項の規定に基づき、平成4年度日野市一般会計及び各特別会計における主要な施策の成果について報告します。

平成5年9月

日野市長 森 田 喜美男

## 主要な施策の成果（総括）

### 1. 収支の概要

平成4年度普通会計決算は、歳入総額478億3,699万円、前年度比1.5%減（7億3,734万円減）、歳出総額471億899万円、前年度比1.3%減（6億85万円減）となり、歳入歳出ともに昭和61年度以来のマイナスとなった。形式収支は7億2,800万円となり、この形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引くと、実質収支は7億2,568万円で引き続き黒字となっている。

歳入の58.4%を占める市税の伸びは、前年度比2.1%減となった。特に法人市民税は、企業収益が一層悪化し、前年比30.7%（9億5,114万円）の大幅な減収となった。固定資産税及び都市計画税については、合わせて9億7,945万円の増となった。また、利子割交付金（前年度比56.3%減）や収益事業収入（同27.5%減）も経済情勢の影響を受けて大きく落ち込み、市の財政は極めて深刻な状況を呈した。

こうした厳しい財政状況に対処するため、8月には、経常経費の一部について5%凍結を行うなど緊急な方策を講じた。また、財政調整基金（8億8,628万円）、公共施設建設基金（31億円）の繰入れを行うとともに、年度末には減収補填債（市債）を10億円発行し、財源の確保と効率的な財政運営に努めた。歳出では、八ヶ岳高原大成荘の改築、防災情報センター及び新電算室の新築、緊急通信システムの整備、市民プールの改築など「日野市基本計画」のめざす「緑と文化の市民都市」実現に向け、5つの基本目標に沿って、施策の展開を図った。また、下水道事業、土地区画整理事業を中心とする都市基盤整備などの諸施策についても積極的に推進し、快適な環境づくりに取り組んだ。

次に、重要な財政指標では、財政運営の状況を判断する実質収支比率は、2.5%となり、前年度（2.9%）より僅かに後退した。また、財政構造の弾力性を示す経常収支比率が税収の減などにより79.5%となり、前年度（74.6%）より4.9ポイント後退した。公債費比率は前年の9.3%から8.9%へと0.4ポイント好転した。これは市債の繰上げ償還や基礎数値である標準財政規模の増によるものである。

## 2. 施策の概要

次に平成4年度の主な事業について、「緑と文化の市民都市」の実現に向けた5つの基本目標に基づき、その成果を以下のとおり報告する。

### (1) 「生きる喜びを創り出す健康と福祉のまち」

21世紀の高齢化社会について、多くの人々が「不安を感じたことがある」と回答している(21世紀東京づくりに関する世論調査)。高齢者の大きな不安は、経済的な問題や家庭と地域とのつながりのない孤立した生活と考えられている。今後の在宅福祉、施設福祉、保健サービスの事業量の目標を定める「日野市保健・福祉計画」策定(5年度)の検討資料として「日野市における保健・福祉の現状と課題」をまとめ、計画策定の準備を整えた。

住宅に困窮している65歳以上のひとり暮らしや、高齢者世帯を対象とした「高齢者集合住宅」については、さらに2棟35戸を借り上げ充実に図った。この結果、合わせて4棟67戸となり、管理人の配置や緊急通報システムの設置によって、安心して日常生活を送れる体制を整えた。在宅の虚弱老人、ねたきり老人等要介護老人に各種の福祉サービスを提供する「(仮称)栄町サービスセンター」を栄町の都営住宅建設に併せて新築する工事に着手した。市民が利用できる3番目の施設として5年度末に完成予定である。

小学校低学年(1~3年生)の児童を放課後、集団的に指導し、健全な育成を図る学童クラブは、毎年、整備充実に進めているが、4年度は、南平小学校内の余裕教室を利用して、「ひらやま児童館南平小分室」を新設し、遠距離通所の解消に努めた。

近年、人口の高齢化や成人病の増加等健康や暮らしをめぐる環境は大きく変化し、市民の健康に対する関心はますます高まり、よりよい保健医療サービスを求める声が強くなっている。この様な背景のもとに、「市民健康の集い」を開催して、市民の健康の保持、増進の意識を高めることができた。

市立総合病院では、厚生省の設置基準に合った診療室(リハビリ室)の増設を行った。「腹腔鏡胆のう摘出術機器」や「超音波診断装置」など、最新の医療機器も導入し、地域の中核医療機関としての充実に図った。また、「市立総合病院改築等基礎調査」を行って、多摩平四丁目3番地ブロックへの建設構想の基礎資料を得た。

### (2) 「豊かな人間性を育てる教育と文化のまち」

快適な教育環境を保持するため校舎、屋内運動場など教育施設の整備は基本計画に基づいて実施している。小学校では、「第三小学校大規模改造」(継続)、「高幡台小学校大規模改造」、「第八小学校屋内運動場大規模改造」等の事業を、また「給食室改修工事」は潤徳小学校、平山小学校でそれぞれ実施した。2年度から行ってきた「ランチルーム整備」は程久保小学校、三沢台小学校を改造整備した。平成4年4月、学習指導要領の改訂により『生活科』が新設され、そのための整備を第二小学校ほか5校で実施した。

中学校では、「第三中学校屋内運動場大規模改造」、「第三中学校校庭整備」、「第四中学校校庭整備」等を実施した。

また、5年度から、技術家庭科でコンピュータ授業が開始されるのに伴って、七生中学校、第三中学校、平山中学校に各21台のパソコンを設置した。これによって、全中学校への設置が完了した。

ごみの減量は緊急な課題であるが、学校給食から出る生ごみを処理する「生ごみ分解機」を初めて第六小学校及び三沢台小学校に導入した。1日に20kgの処理能力があり、今後の活用に期待ができる。

地域に伝わる伝統文化、農作業などの体験学習の重視、あるいは『生活科』の推進など、幅広い教育活動が求められている中で「社会人講師活用事業」を小・中学校全校で実施し、貴重な学習体験を得ることができた。

平成3年度から進めていた「大成荘改築」は、装いも新たに平成5年2月に「ハヶ岳高原大成荘」としてオープンした。団体棟(定員60名)及び一般棟(定員47名)からなる本格的な林間・保養施設で、開設以来多くの市民が訪れている。

市民文化祭は30周年記念事業として、「第九演奏会」を、また、子ども会連合会は25周年記念事業として「子ども会まつり」をそれぞれ実施し、社会教育活動の振興に努めた。

市史編さん事業は、「日野市史史料集高幡不動胎内文書編」を刊行した。

ふるさと博物館では、企画展「太古からのメッセージ~多摩川から出たゾウ化石」を開催し、体験学習会と合わせて多くの市民を魅了した。

昭和40年に開設して以来、設備の老朽化が進んでいた市民プールは第一期工事(25m及び50mプール)に着手し、平成5年夏からの使用が可能となった。

### (3) 「自然と調和する安全・快適なまち」

魅力あるまちづくりは、機能性、利便性、安定性を追求することはもちろん、人々が緑や水辺の自然に親しみ、安全で快適な生活を送ることが理想である。

「日野本町四丁目地区市街地調査」、「西平山五丁目地区市街地整備調査」を実施し、居住環境や道路整備等の調査を行った。また、土地利用計画などの基礎資料とするため、都市計画法、国土利用計画法に基づき「土地利用現況調査」を実施するとともに、三沢及び程久保地区の一部で「町名地番整理調査」を実施した。

土地区画整理事業は、万願寺、高幡、豊田南地区で、街路の築造や建物移転等の事業を中心に推進した。また、豊田南地区では「立体換地調査」、「豊田南口駅前地下駐車場整備設計」を実施した。万願寺第二地区では「換地設計業務」を行った。また、西平山地区および東町地区では、それぞれ、事業認可を受けた。組合施行の南平、四ツ谷前、落川地区には、技術援助を実施するとともに、事業費の助成を行った。

道路整備事業では、「都市計画道路3・4・14号線交差点改良」事業によって東豊田陸橋の通行が可能となり、南北交通の往来が実現した。また、「幹線市道I-12号線舗装改良」、「市道02号線道路改良」等を計画的に推進し生活環境の改善を図った。交通安全対策は、歩道の設置や視線誘導標、太陽電池式発光交差鏡の設置を行い歩行者の安全確保と事故防止に効果をもたらした。

自転車対策は、有人管理の有料駐輪場「日野駅西駐輪場」を開設し、日野駅周辺の放置自転車の減少と歩行者の安全対策に努めた。

基本構想の精神に基づき『緑』を身近な財産として行政施策を推進している。「緑地信託」、「緑の実態調査」、「みどりの保護・育成」、「緑化推進」などの事業があげられる。「市の花普及事業」も菊苗を小学校や老人クラブに配布し普及に努めている。また、「堀之内緑道」や「ハイキングコース南平口連絡路」を整備しネットワーク化を図った。

水環境の整備は、「向島用水親水路」、「多摩川遊歩道」、「浅川遊歩道」、「倉沢川水辺」の整備事業を行って、市民に親しまれる水辺空間を築いた。また用水路の改修工事についても、近自然的工法を採用するなど自然に十分配慮した。

都市基盤づくりの重点施策である下水道事業は、南多摩処理区では、ほぼ全域で供用を開始している。浅川処理区では、浅川右岸を中心に整備し、平山、

南平、高幡、程久保、三沢地域の面整備を主に行った。秋川処理区は、石川幹線の整備と、旭が丘地域を中心とした面整備を実施した。なお、平成4年11月、流域下水道浅川、八王子両処理場が稼働し、汚水の平成4年度末の整備人口普及率は52%となった。

排出されるごみの増加と質の多様化に対応するため、種々の施策が検討されているが、その一環として「空き缶プレス機」を導入し、再資源化を積極的に推進した。

公営住宅制度の補完と、多様な住宅需要に対処した「地域特別賃貸住宅」は、1棟18戸を借り上げて公募方式により実施し、快適な住環境を整備した。

災害が発生した時は、市民により早く、より正確に情報を伝えることが重要であり、その拠点となる「防災情報センター」の建設と「緊急通信システム」の整備を行い、防災施設の充実を図った。

### (4) 「活気ある産業と豊かな消費のまち」

農業をとりまく情勢は、農業後継者の不足や農産物の輸入自由化、都市化の進展など厳しい状況におかれている。そこで、農業経営の安定、農業者育成、優良農地の確保と高度利用などを積極的に推進するため「優良集団農地保全育成」や「生産緑地保全育成」事業を実施した。4年度からは、畜産の生産性向上とその環境整備を目的とした「畜産生産環境保全事業」を実施した。また、ふれあい農業のモデル形成のため、立地条件と農業者の意欲を反映できる百草・倉沢地区（萬蔵院台）に「りんご園（果樹の里）」づくりを推進した。「いも堀農園育成」、「有機栽培試作」、「学校給食供給育成」などの事業によって、都市農業の育成に努めた。

商工業の進展は、市民生活を安定させ、まちの活力を支えている。「中小企業事業資金融資幹施」、「小規模事業者育成」、「商店街イベント補助」等を実施し、経営の安定と近代化を、また地域社会と調和のとれた商工業の振興を図った。新たに「商店街活性化推進事業」として、日野台商店街の街路灯設置を行ない、良好な商業環境整備と商店街の活性化が期待できる。

「日野市産業まつり農業展・商工展」は、約6万人の市民が訪れ、生産者と地域住民との交流が深まった。

## (5) 「参加と連帯でつくる市民自治のまち」

市民自治が発展し続けるためには、市民生活の平和が保たれていなければならない。昭和57年に「核兵器廃絶・平和都市宣言」を行い、その精神に基づき、平和に対する市民意識の高揚に努めている。「平和事業基金」の果実運用により「平和行事等参加補助」、「平和映画の集い」、「非核平和展」などを開催した。また、「外国人留学生修学援助事業」は国際親善に寄与した。

地区センターの整備は、老朽化していた「第一日野万地区センター」を、万願寺土地区画整理事業の進捗に合わせ全面改築した。平山図書館と平山地区センターの建替を目的とした「平山城址公園駅前市公共施設実施設計」を行い、複合文化施設の建設をめざした。

「女性センター」は女性の生活と地位の向上を図るための拠点として、各種情報の提供やネットワークサービスなどを推進してきた。「女性センター10周年記念祭」ではパネルディスカッション、作品展示、活動の発表など幅広い交流が見られた。

すでに稼働している「住民情報システム」の充実と、5年度から一部稼働予定の「財務会計事務電算化」の効率的な運用を図るため防災情報センターの2階に「新電算室」を建設した。

21世紀に向けて魅力あるまちづくりを計画するため「第三次基本構想及び基本計画策定調査」を実施し、策定のための基礎資料を得た。また、基本構想、基本計画の策定にあたっては、市民の意識と行政ニーズを的確に把握することが必要であるため「市民意識調査」を行った。

## 一般会計による事業

総務費

事業名	事業の概要	事業費
平和推進事業	平和行事等参加補助 補助金 { 広島・長崎 1人4万円 沖繩 1人5万円	1,710千円
	平和映画の集い 8月16日(日)開催 「うしろの正面だあれ」外 1本を上映	772千円
	非核平和展 8月18日(火) ~21日(金)開催	1,607千円
	平和啓発フィルムの購入 16ミリフィルム 「第五福竜丸」	597千円

成 果
広島、長崎、沖繩の平和行事等に参加する市民に対して、参加費用の一部を補助することによって市民の平和運動の意識高揚を図った。 参加内訳 { 広島 20人 長崎 9人 沖繩 11人 計40人
市民会館において、平和に関する映画を上映し、市民の平和意識の高揚を図った。 入場者数 980人
庁舎市民ロビー等において核被爆資料を中心とした、戦争と平和に関する写真パネルの展示、ビデオ放映等を行い、核兵器廃絶を訴えた。
平和に関するフィルムを市立図書館のフィルムライブラリーに収め、市民一般に貸し出しを行い、平和啓発に役立てた。



事業名	事業の概要	事業費
日野市企業公社運営費補助	日野市企業公社に運営費の補助を行った。	16,318千円
平山城址公園駅前公共施設実施設計	平山城址公園駅前の公共施設について、平成3年度の基本計画に基づき、実施設計を行った。	26,780千円
豊田駅北口公共施設整備工事	豊田駅北口駅付近の環境整備を行った。	9,373千円

成 果
<p>乗鞍高原日野山荘、ハヶ岳高原大成荘や市民プール運営事業及び駐車場事業の代行など、本市が行うサービス事業を受託し、市民生活の向上及び行政サービスの効率的な運営に寄与する日野市企業公社に、運営費補助を行った。</p>
<p>現在、平山城址公園駅前の2箇所の用地に別々に設置されている平山図書館と老朽化した平山地区センターの建替を目的に、現図書館用地に複合文化施設として建設するため、実施設計を行った。</p>
<p>豊田駅北口の仮囲いのままとなっていた既存建物の改修工事を行った。駅改札口への通路や、待ち合わせ広場として、さらに市の掲示板設置による各種情報提供など多目的な利用に対応できる施設として改修した。</p>

事業名	事業の概要	事業費
日野市住宅マスタープラン調査・策定	日野市における住宅及び住宅地の供給（改善）計画を策定した	16,995千円
日野市市民意識調査	<p>①調査区域 日野市全域</p> <p>②調査標本 20歳以上男女2,000人 市民自治学園生</p> <p>③標本抽出 選挙人名簿による無作為抽出</p> <p>④調査方法 郵送配布、郵送回収</p> <p>⑤調査時期 10月29日～10月27日</p>	6,695千円

成 果
<p>最近の深刻な住宅事情のもとで、住宅対策の充実に寄せる強い期待に応えるため平成3年7月に策定された「東京都マスタープラン」に基づき、まちづくりと連動させながら日野市の実情に応じた住宅対策を体系的・総合的に推進するための基本となる計画を示すことができた。</p>
<p>基本計画等の基礎的な市政の方針や、各種・各分野の施策の決定に当たって、市民の意識・要望を反映させるための基礎資料として、昭和54年度、59年度、平成元年度に続いて第4回目の市民意識調査を実施した。</p> <p>今回は、第3次基本構想及び基本計画策定に反映するよう調査を行い、基礎資料を得た。</p>

事業名	事業の概要	事業費
第3次基本構想及び基本計画策定調査	第3次基本構想及び基本計画策定のための調査を実施。	9,270千円
日野市立総合病院改築等基礎調査	日野市立総合病院の改築を計画するに当たりその役割・位置づけを検討するとともに、多摩平四丁目3番地ブロックへの建設構想についての調査を実施した。	4,944千円
市史編さん事業	「日野市史史料集 高幡不動胎内文書編」の刊行  体裁 B5版 上製本 240頁 印刷部数 1,500部	6,329千円

成 果
第3次基本構想及び基本計画策定のため、社会情勢の変化、現状と課題の分析及び新しい施策等の調査を行い、策定への基礎資料を得た。
医療を取り巻く環境について調査・分析するとともに、建設候補地としての多摩平四丁目3番地ブロックにおける施設規模、配置計画等を検討した。 これにより今後の改築計画を進めるための基礎資料を得た。
高幡山金剛寺の不動明王坐像胎内文書の調査研究を行い、日野市史史料集の一冊として刊行した。

高 幡 不 動 胎 内 文 書

事業名	事業の概要	事業費				
財務会計事務電算化	①予算編成 システム等設計及びテスト・プログラム ②執行管理 システム等設計及びテスト・プログラム	103,824千円				
新電算室開設	特殊付帯設備工事 LAN通線設備工事。	342,475千円 ・財源内訳 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">地方債</td> <td style="padding-left: 10px;">300,000</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">一般財源</td> <td style="padding-left: 10px;">42,475</td> </tr> </table>	地方債	300,000	一般財源	42,475
地方債	300,000					
一般財源	42,475					

成 果
<p>前年度作成の「基本計画」を受けて、具体的な作業を行った。 作業を円滑に進めるため、予算編成班と執行管理班の2班に分けて検討し、平成4年度予定した行程を消化した。</p>
<p>特殊付帯設備として</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 無停電電源設備</li> <li>2 空気調和設備</li> <li>3 空調二次側電気</li> <li>4 環境監視</li> <li>5 入室管理システム</li> <li>6 I T V監視システム</li> <li>7 情報コンセント設備</li> <li>8 地下タンク躯体</li> <li>9 移送ポンプ置場</li> <li>10 自家発電設備</li> </ol> <p>の各工事を行い、本庁と電算室および本庁内の端末機との通信のために、LAN通線敷設工事を行った。</p>

民 生 費

事業名	事業の概要	事業費
<p>グループホーム日野市立こばと寮新設に伴う運営</p>	<p>平成3年度に建設し、平成4年5月に入居が始る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 場所 日野市万願寺172-3</li> <li>◦ 定員 4名</li> <li>◦ 委託先 社会福祉法人 東京都精神薄弱者育成会</li> </ul>	<p>6,377千円</p>

成 果
<p>この施設は現に就労し、又は授産施設等に通所している精神薄弱者に対し生活の場を提供し、地域社会での自立生活を助長するために設置した。現在4名の入居者が、日常生活に必要な援助、指導及び食事の提供などを受け、自立をめざして、生活している。</p> <div data-bbox="1635 505 2356 989" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">運営の始まったこばと寮</p>

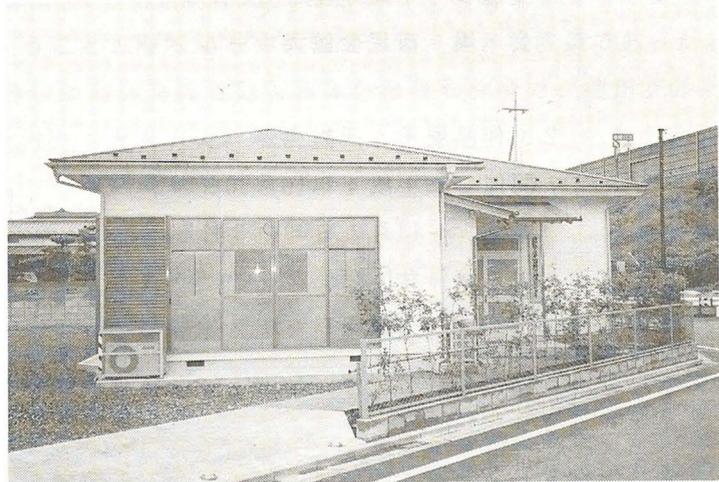
事業名	事業の概要	事業費								
(仮称) 栄町サービスセンター新築工事	<p>日野市栄町二丁目アパート(都営住宅) 2号棟の1階部分 (延床面積) サービスセンター部分 929.92㎡ (構造) 鉄筋コンクリート造3階建1階部分 (用途) 老人福祉施設(老人デイサービス) (事業内容) 基本事業定員40名 入浴サービス 5名/日 ショートステイサービス 10床/日 訪問給食サービス 70食/日 機能訓練 20名 (所在地) 日野市栄町二丁目17番地ほか</p>	<p>168,269千円</p> <p>○ 財源内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>国庫補助金</td> <td>6,137</td> </tr> <tr> <td>都補助金</td> <td>29,790</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>84,500</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>47,842</td> </tr> </table> <p>4～5年度 債務負担行為</p> <p>○ 全体事業費 432,265千円</p>	国庫補助金	6,137	都補助金	29,790	地方債	84,500	一般財源	47,842
国庫補助金	6,137									
都補助金	29,790									
地方債	84,500									
一般財源	47,842									
高電圧治療器設置	<p>高幡福祉センターロビーに設置 ○ ヘルストロン HEF-K900型 3人用</p>	1,328千円								

成 果
<p>高齢者在宅サービスセンターは、在宅の虚弱老人、ねたきり老人等要介護老人に対し、各種のサービスを提供することにより、当該老人及びその家族の福祉の向上を図る。</p> <p>この施設は、2年度の「日野市地域高齢者住宅計画」及び3年度「シルバーハウジングプロジェクト推進計画」等に基づき都営住宅と合築として、3年度実施計画、4年7月着工、5年度末に市民が利用できる3か所目の施設として完成をめざし、順調に工事が進められている。</p>
<p>高幡福祉センターに設置したことで福祉センター3館全てに配置ができ、より身近な地域で使用できると、利用者から好評を得ている。</p> <p>また、特養浅川苑との併設施設のため、入居者の使用も多く、一般高齢者、入居者との交流も深めている。</p> <p>※ 高電圧治療器とは、電界を利用して人体に高電圧を加え、身体の組織細胞に高圧カルシウムイオン電子を与えて病的な酸性血液を正常な弱アルカリ性血液に引き戻す健康器具。</p>

事業名	事業の概要	事業費
高齢者集合住宅借上げ	<p>住宅に困窮している65歳以上のひとり暮らし又は高齢者のみの世帯を対象にした集合住宅。</p> <p>使用料は、前年の所得に応じ認定した。</p> <p>(建物概要)</p> <p>1 シルバーピアあさひがおか            単身者用 18戸            世帯用 2戸 計20戸            鉄骨造り 2階建</p> <p>2 シルバーピアまました            単身者用 12戸            世帯用 3戸 計15戸            鉄筋コンクリート造 2階建</p>	<p>60,806千円</p> <p>○ 財源内訳</p> <p>国庫補助金 24,143            都補助金 12,071            一般財源 24,592</p>
「日野市における保健・福祉の現状と課題」報告書作成	<p>日野市の保健・福祉行政の現状について昭和62年度から平成3年度までの5か年の実績をまとめ、課題を抽出した。</p> <p>報告書            B4横判 93頁            100部作成</p>	<p>1,148千円</p> <p>○ 財源内訳</p> <p>都補助金 573            一般財源 575</p>

成果
<p>この制度は、国の「地域特別賃貸住宅制度要綱」に基づき、土地所有者の協力で、市が指定した仕様により建設された高齢者向専用住宅であり、管理人の配置、生活リズムシステム・緊急通報システムの設置により、入居者が安全かつ安心して過ごせるようになり、高齢者の生活の安定と福祉の増進を図った。</p> <div data-bbox="1627 516 2343 999" data-label="Image"> </div> <p>入居の始まったシルバーピアあさひがおか</p> <p>5年度に策定する「日野市保健・福祉計画」の検討資料として、策定業務に携わる委員・職員に配布を行う事により、委員・職員の現状認識を一つにする事ができた。</p> <p>また、計画策定の一つの指針として、有効な資料となった。</p>

事業名	事業の概要	事業費
第一日野万地区センター改築	(施設規模) 敷地面積 306.000㎡ 建物面積 107.417㎡ (建物構造) 木造平屋建 カラーベストコロニアル葺 外構工事 (施設内容) 集会室(洋) 29.747㎡ 和室 21畳	27,043千円 ・財源内訳 都補助金 5,716 一般財源 21,327
ひとり親家庭医療費助成事業	母子・父子家庭で18歳未満の児童と親 対象世帯数 645世帯 対象者 1,586人 受診回数 6.86回/年 (1人当たり)	30,282千円 ・財源内訳 都補助金 20,929 一般財源 9,353
みなみだいら保育園給食室改修工事	みなみだいら保育園の給食室を全面改修	11,794千円

成 果
<p>昭和44年に建設され老朽化が進んだこととあわせて、万願寺土地区画整理事業に伴い、改築した。今後は、今まで以上に快適な条件が整備されたので、地域市民のコミュニティ活動の拠点として、大きな役割を果たすことが期待される。</p>  <p>完成した第一日野万地区センター</p>
<p>ひとり親家庭に対し、医療費を助成することにより、疾病から生ずる医療費の負担を軽減し、その自立を支援することができた。</p>
<p>3年度のもぐさ台保育園に引き続き、みなみだいら保育園給食室改修工事を行った結果、安全でかつ衛生的に給食を作ることが出来る様になった。</p>

事業名	事業の概要	事業費
女性センター 10周年記念祭	'92 出会いのひろば 1 パネルディスカッション 「自分で決めませんか あなたの明日を」 開催日 平成4年9月18日(土) 会場 市民会館大ホール  2 作品展示、活動発表 開催日 平成4年10月30日(金) ～11月1日(日)の3日間 会場 女性センター 生活保健センター	4,280千円

成果
<p>昭和57年の11月、女性の生活と地位向上を図るための推進拠点として、市立女性センターが設立された。10周年に当たり、女性センター使用グループより10年のあゆみをふり返り、記念事業をしたいとの提案により、平成3年11月から、準備をすすめた。この10周年記念祭の行事をとおして、女性センターの日頃の活動を知ってもらい「出会いのひろば」として女性センターが気軽に出入りできる場所だということを理解してもらえたのは、大きな成果であった。また、使用グループで構成した実行委員で記念事業をとりくむ中で、使用グループ間が交流し、団結が深まったことも、大きな成果として上げられる。</p> <div data-bbox="1635 717 2351 1203" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">熱心に討議するパネラー</p>

事業名	事業の概要	事業費
日野市立ひらやま児童館南平小分室新設	(施設規模) 南平小余裕教室 2 教室 面積 126㎡ (施設内容) 遊戯室 休憩室 事務室ほか (所在地) 日野市南平四丁目18番地の1	14,798千円

成 果
<p>従来、南平小学校の児童（1年～3年生）の放課後対策は二小学区内に設置されていた「たんぼほ学童クラブ」で育成をしていたが、南平小学校からは遠距離であり通所時における事故等の危険があったが、今回の新設により解消された。</p>

衛 生 費

事業名	事業の概要	事業費
空き缶資源化	空き缶プレス機購入 1台 ・電 動 ・処理能力10,000個／1日 ・アルミ・鉄、自動選別	6,128千円
日野市民健康のつどい	実施日 平成4年11月3日(火)  対 象 一般市民  実施場所 生活・保健センター  参加者数 900人	1,629千円 ・財源内訳 { 国庫補助金 543 一般財源 1,086

成 果
空き缶資源化の一環として空き缶プレス機を購入した。これにより市内小・中学校28校を集積場所として回収した空き缶の処理が可能になった。
健康の保持・増進の大切さを知る機会を提供することに主眼を置き、「おもしろ体験チェック」をメインテーマとし実施した。家族皆で健康について気軽にチェックできる測定装置や、クイズ・ゲーム感覚で楽しく行えるチェック方法を取り入れ多くの市民に健康保持・増進に関心を抱かせる効果があった。

労 働 費

事業名	事業の概要	事業費
日野市勤労者互助会 運営費補助	市内中小企業の従業員及び事業主等の福利厚生事業	12,480千円
勤労・青年会館自主 講座	勤労市民を対象とした労働講座 事業	320千円
雇用促進特別事業	立川公共職業安定所曙町労働出張所に登録する日雇労働者に対して、雇用の端境期に公共事業を特別に起こし雇用の促進を図るものである。	4,973千円

成 果			
<p>日野市勤労者互助会は、個々の中小企業では達成できない勤労者福祉の向上を行政、事業所及び従業員の相互協力により推進し、中小企業の雇用安定と振興発展に寄与した。</p> <p>また、この1年間で297人、42事業所増え、会員数は2,824人、事業所数は563となった。</p>			
期 日	テ ー マ	講 師	参加人員
4. 10.29	これからの年金制度について	経済評論家 久野万太郎	27人
10.30	ビデオを楽しく撮る方法について	電気会社商品営業部 益山 孝宏	19人
10.31	”	電気会社商品営業部 益山 孝宏	19人
11. 6	勤労社の余暇活用の方法について	宇都宮大学生涯学習センター長 教育副センター長 瀬沼 克彰	28人
11.10	低金利地代の資産運用について	証券会社投資課長 馬医 良明	22人
12. 1	中高年の人生設計について	東海大学教授 望月 衛	31人
5. 3. 2	日本人の忘れもの	落語家 古今亭右朝	59人
3. 5	どうなる日本経済	関東学園大学教授 矢野 誠也	111人
<p>公共事業の発注が少ない5月～7月にかけて、延200人の雇用を行い、日雇労働者の生活安定を図ると同時に、防災用砂袋作り、市道側溝の清掃、公園等の除草を行い市内の環境美観につとめた。</p>			

農 業 費

事業名	事業の概要	事業費
農業近代化資金利子補給	利子補給率 1.5%	747千円
優良集団農地保全育成	指定面積 9.90ha 事業種目 生産資材の購入 農機具の購入 農業用構築物の購入	13,979千円 。財源内訳 都補助金 9,320 一般財源 4,659
生産緑地保全育成	一事業 1,000千円以上 補助限度額 500千円	7,500千円
産業まつり農業展	農業団体参加数 12団体 農業展共進会 出品展数 357点 農産物即売 東京南農協青壮年部 花卉生産組合即売部会	2,300千円
りんご園（果樹の里）推進	生産者 7名 面積 5,000㎡	1,224千円
いも掘り農園育成	4ヶ所（神明、堀之内、平山、東平山） 参加人数 758人	200千円

成 果
農業経営の近代化のための長期低利資金と、自立企業経営農家の推進を図った。
面的なつながりをもつ1ha以上の農地を優良集団農地に指定し、7年間保全協定を締結することによって、農業の近代機械化を促進し、併せて市民生活に欠くことのできない生鮮野菜の供給と緑地の保全に努力し、都市と調和した農業経営に寄与した。
育苗施設、栽培施設、灌水施設、生産資材等の導入により、農業経営の安定化に資するとともに、市民生活に直結する生鮮食料品の供給と農地の保全に寄与することができ、また農業経営全般にわたる資質の向上を図ることができた。
農業展は商工展と同時開催となって12回目を迎えた。今回は、二日間の来場者が延べ6万人ともいわれ、盛会さを一段と増してきた。 これは、市民の中に秋の一大イベントとして定着したものと思われる。 特に農業展は、都市化の進む中で農業者が鋭意努力した成果を一堂に集め、優秀な各種農産物を展示し、農業の総合的振興発展を図るとともに、優秀な作品を厳正な審査を経て表彰した。同時に市内産の新鮮な農産物を市価より安く即売して一般消費者に喜ばれた。
果樹の里づくり事業の一環として百草・倉沢地区（萬蔵院台）に『ふじ、陽光』を中心に7品種、650本を植栽、3年間は幹を育成、4年目から実を収穫できるようになる。
ふれあい農業の一環として、家族で『さつまいも掘り』をし、土と親しみ、収穫の喜びを体験し市民に喜ばれた。

事業名	事業の概要	事業費
有機栽培試作	3ヶ所（平山、東光寺、堀之内） 面積 2,000㎡	240千円
学校給食供給育成	実施校 21校 （小学校8、中学校13） 参加農家数 42農家 （平山地区、東光寺地区、堀之内地区）	200千円

成 果
有機栽培、低農薬栽培と市民ニーズに応えるため有機栽培モデル事業として、牛糞を5屯購入し、栽培マニュアルを作成するため試作を試みた。
市内の児童に市内で取れた新鮮な美味しい野菜を供給する。 学校給食供給農家に対し、衛生的な容器を使用するよう助成した。（コンテナ購入代）

商 工 費

事業名	事業の概要	事業費
中小企業事業資金融資 斡旋	貸付実行件数 147件 融資金額 694,800千円 利子補給 13,666千円 保証料 153件 7,357千円	21,018千円
商店会所有灯電気料 補助	市内11商店会に実施	1,427千円
小規模事業者育成	小規模事業者育成条例に基づく 商工業者に、資金調達の援助・ 営業近代化等の事業を行い、事 業者の経営の安定・拡大を 図る。	11,642千円
商店街イベント補助	商店会の催すイベント事業及び 販売促進事業に対し、各別に1 回を対象に補助を行い、活性化 を図る。	6,805千円
産業まつり商工展	11月14日(土)15日(日)の2 日間、第26回日野市産業まつ り実行委員会により実施。	2,300千円

成 果
市内に居住し、市内外で事業を営む中小企業者のために、事業資金の融資あっせんを行うとともに、利子、保証協会保証料の一部を補助することにより中小企業者の経営改善と設備の近代化を促進し、中小企業者の育成と振興を図った。
市内の商店会等が維持管理している街路灯等に対して、電気料の一部を補助することにより商業活動の振興を図った。
昭和61年度から開始した事業で、今年度は7年目に当たり、中小企業の中でも経営基盤の弱い小規模事業者の育成に寄与した。 〔事業状況〕 商工会補助金 6,500千円 営業近代化指導 304件 講習会 62人 利子補給 件数 407件 (1.5%) 金額 5,142千円
商店会での事業への取り組みが活性化するとともに、経費負担の軽減が図られた。また、制度を設けたことが刺激となり、新たな取り組みがみられた。 イベント事業 7件 3,310千円 販売促進事業 15件 3,495千円
第26回日野市産業まつり商工展は、庁舎南側中央公園を主会場とし、11月14日(土)15日(日)の両日開催し、約6万人の市民が来場し、市内商工業者と地域住民との交流を通じ、いきいきとした地域の連帯に寄与した。

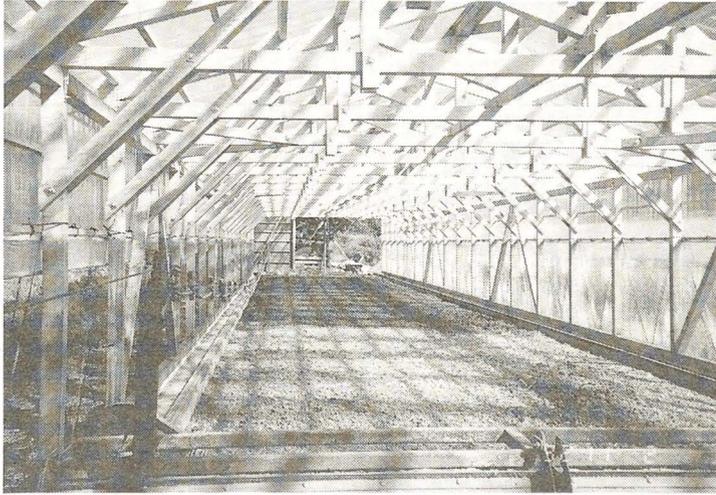
事業名	事業の概要	事業費
観光パンフレット作成	観光パンフレット「緑と清流のまち・日野」及びウォーキングマップ印刷	742千円
観光協会運営費補助	観光協会運営事務経費及び事務局員（1人）雇上げ経費を補助	2,630千円
伸びゆく日野市写真コンクール補助	出品総数 286点 題材 四季をとおしての市内の観光的景観 入賞総数 35点	700千円
高幡不動尊菊まつり補助	。高幡不動尊境内を主会場とする、菊花コンクール 10月28日～11月15日 参加団体数 11団体 出品総数 654点 入賞総数 242点	1,500千円

成 果
パンフレット1,000部及びウォーキングマップ2,000部を作成、市内外に配布し、市民レクリエーション、観光宣伝に活用された。
観光協会の活動を通じ、観光宣伝や各種行事が行われている。運営経費を補助することで、円滑な運営が行われた。
市内はもとより市外からも多数の応募があった。入賞作品は市役所ロビーに展示のほか、市内企業にも貸出しをするなどをし、市の観光振興、文化の向上に効果があった。
約3週間にわたる期間中にはテレビ報道などもあり、市外からも多数の来場があった。都内でも指折りの菊の祭典となっている。

事業名	事業の概要	事業費
商店街活性化推進事業	<p>日野台商店会街路灯設置</p> <p>1 街路灯設置 38基</p> <p>2 シンボル灯設置 2基</p> <p>3 統一ネーミング及びロゴマーク作成  (愛称) フラワーロード  ロゴマークは、円形の中にイチョウの葉をデザインし英語でフラワーロードと記入</p>	<p>25,855千円</p> <p>○財源内訳</p> <p>東京都中小 16,620  企業振興公社  補助金  一般財源 9,235</p>

成果
<p>良好な商業環境整備の第一段階としてシンボル灯、街路灯の設置を行なった。  明るい街路灯は、地域住民にも好評で、商店街活性化の役割をはたすものとして期待される。</p> <div data-bbox="1599 473 2320 962" data-label="Image"> </div> <p>シンボル灯外観</p>

事業名	事業の概要	事業費
畜産生産環境保全事業	鶏糞乾燥施設整備 改修 1棟 300㎡	4,125千円 ・財源内訳 { 都補助金 2,570 一般財源 1,375

成果
<p data-bbox="1427 284 2478 365">既存のビニールパイプの施設を木構造に改造して強化を計った。屋根材にはポリカーボネイトを使用し、防腐蚀性と耐久性を高めた。</p>  <p data-bbox="1993 957 2230 986">鶏糞乾燥施設内部</p>

土 木 費

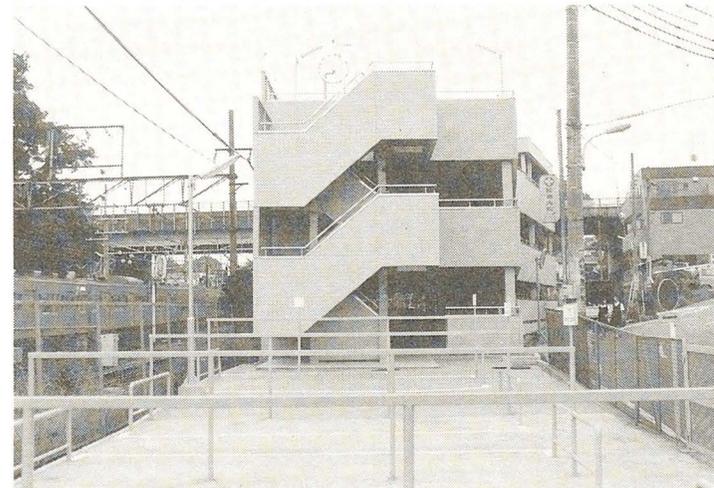
事業名	事業の概要	事業費
長沼橋架替に伴う負担金	橋梁上部工 延長 143.50m 幅員 12.00m	81,369千円 。財源内訳 地方債 81,000 一般財源 369
道路台帳調書作成	調書作成 幹線市道（Ⅰ） 17路線 19.6km 幹線市道（Ⅱ） 60路線 48.7km 市道A～Fブロック 905路線 130.4km	86,005千円
南平六丁目地内道路用地取得に伴う測量	多角測量（4級基準点測量） 20点 地形測量 6,400㎡ 用地測量 17,860㎡ 境界標設置 34箇所	8,374千円
市道K69-10号線測量	多角測量（4級基準点測量） 15点 用地測量 9,000㎡ 境界標設置 34箇所	3,914千円
市道幹線Ⅱ-13号線測量	多角測量（4級基準点測量） 27点 用地測量 14,460㎡ 境界標設置 81箇所	8,549千円

成 果
建設省による浅川改修工事に伴って支障になる長沼橋は、日野市・八王子市及び建設省との費用負担に基づき、架替工事が2年度から実施されている。4年度においては、橋梁の上部工を施工した。
市内全域の基準点整備に伴い、航空測量による道路台帳作成業務を進めてきたが、4年度においては、市道路線の約1/2の路線の調書を作成した。 このことにより、道路整備の基礎となる台帳の第2段階の一部が完了した。
南平六丁目地内（松風自治会）の道路用地取得に伴い、道路と民有地との境界確定作業を実施した。このことにより、道路の管理境界が明確になった。
市道K69-10号線道路拡幅計画に基づき、3年度に境界確定作業を実施し、公共用地と民有地の境界が明確になったため、4年度においては、現地に境界標を設置するとともに、境界確定図を作成した。
市道幹線Ⅱ-13号線道路拡幅計画に基づき、3年度に境界確定作業を実施し、公共用地と民有地の境界が明確になったため、4年度においては、現地に境界標を設置するとともに、境界確定図を作成した。

事業名	事業の概要	事業費
市道O61-23号線 測量	多角測量(4級基準点測量) 5点 用地測量 741㎡ 境界標設置 59箇所	3,605千円
街路灯新設	水銀灯 80W 97基 400W 10基	21,125千円
幹線市道I-13号線 歩道設置	大坂上一丁目30番地先 歩道 $l = 142.4\text{m}$	7,107千円 。財源内訳 <ul style="list-style-type: none"> <li>都補助金 4,738</li> <li>一般財源 2,369</li> </ul>
幹線市道I-3号線 ほか視線誘導標設置	三沢三丁目51番地先ほか 視線誘導標 475本	3,399千円 。財源内訳 <ul style="list-style-type: none"> <li>都補助金 1,133</li> <li>一般財源 2,266</li> </ul>
市道O2号線ほか視線 誘導標及び障害物表示 灯設置	三沢三丁目27番地先ほか 視線誘導板 38基 道路沿石鋸 195基 防護柵 21.6m	2,833千円
太陽電池式自発光交差 点鋸設置	落川353番地ほか 15基	3,657千円

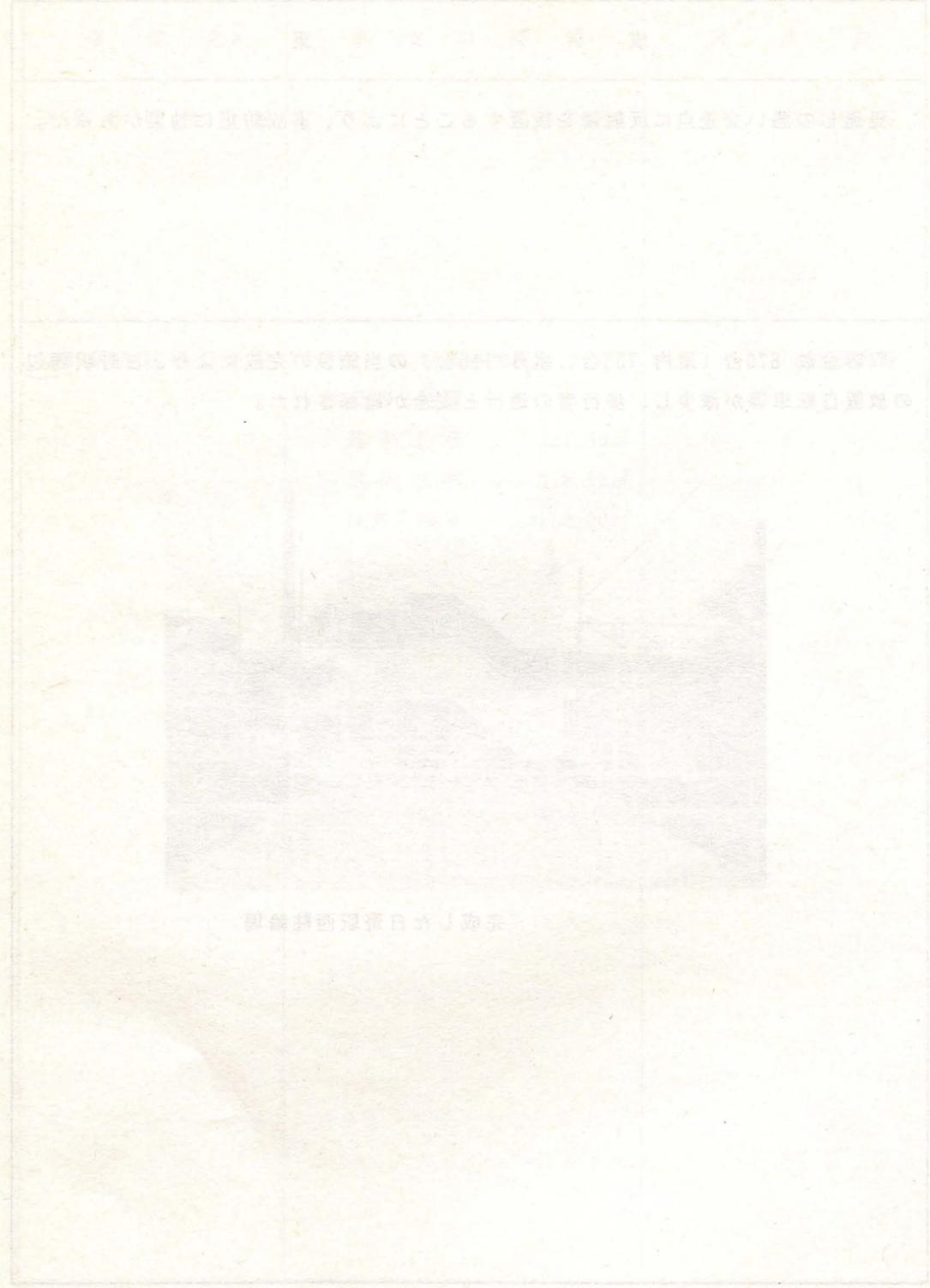
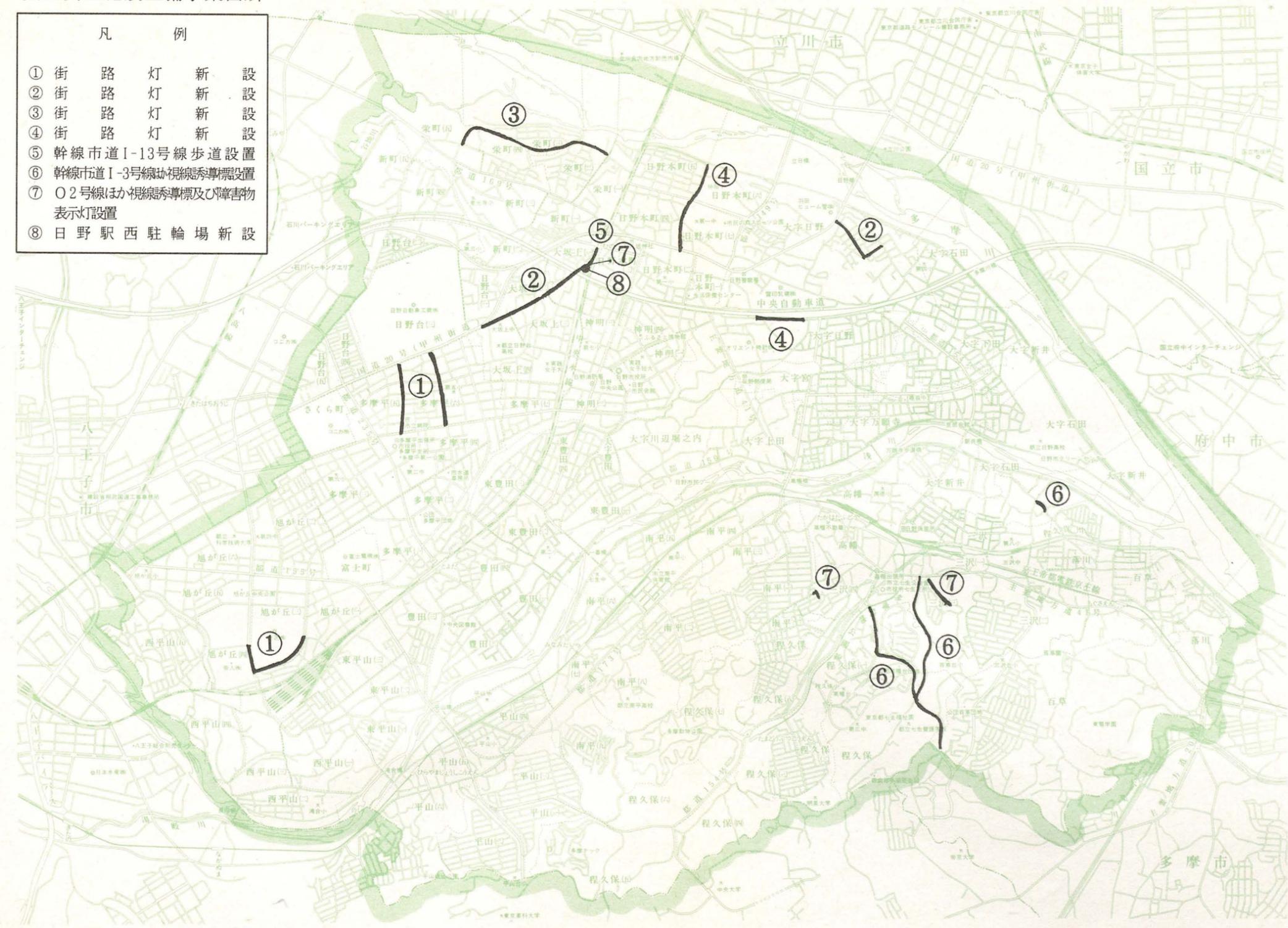
成 果
市道O61-23号線道路拡幅計画に基づき、境界確定作業を実施し、公共用地と民有地の境界が明確になったため、4年度においては現地に境界標を設置した。
街路灯を設置することにより、交通の安全及び防犯等の環境改善を図った。
JR日野駅を利用する市民や、実践女子大学及び都立日野台高校の通学者を中心とする歩行者の歩行スペースを確保することにより、事故防止に効果があった。
交通量の多い幹線市道I-3号線ほか2路線の曲線道路危険箇所に、視線誘導標を設置することにより、運転者の視線をいち早く誘導し、事故防止に効果があった。
勾配が急でカーブの連続する路線に、視線誘導標等数種の交通安全施設を設置することにより、事故防止に効果があった。
交通信号のない交差点に「太陽電池式自発光交差点鋸」を設置し、運転者・歩行者に交差点の存在を知らしめ、事故防止を図った。

事業名	事業の概要	事業費
道路反射鏡設置	10基	2,060千円
日野駅西駐輪場新設	大坂上一丁目9番地先 鉄骨造2階建 建築面積 321.50㎡ 延床面積 638.13㎡ 屋外駐車場 132.00㎡	71,470千円

成 果
見通しの悪い交差点に反射鏡を設置することにより、事故防止に効果があった。
<p>収容台数 870台（屋内 755台、屋外 115台）の当施設の完成により、日野駅周辺の放置自転車等が減少し、歩行者の通行と安全が確保された。</p>  <p>完成した日野駅西駐輪場</p>

交通安全施設整備事業箇所

- 凡 例
- ① 街 路 灯 新 設
  - ② 街 路 灯 新 設
  - ③ 街 路 灯 新 設
  - ④ 街 路 灯 新 設
  - ⑤ 幹線市道1-13号線歩道設置
  - ⑥ 幹線市道1-3号線視線誘導標設置
  - ⑦ O2号線ほか視線誘導標及び障害物表示灯設置
  - ⑧ 日野駅西駐輪場新設





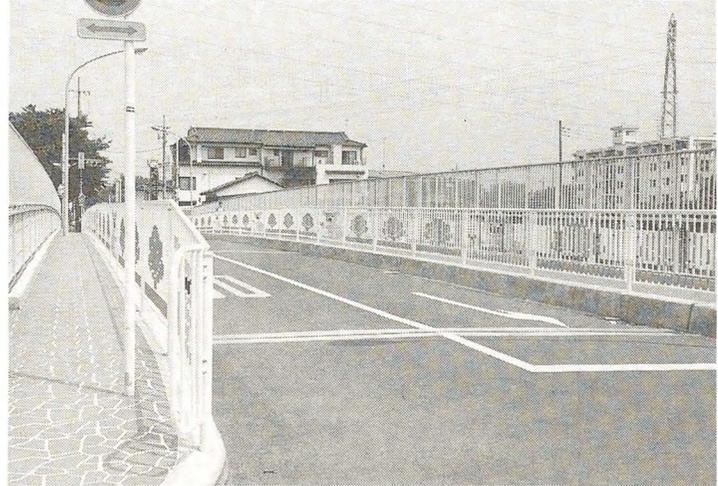
事業名	事業の概要	事業費
市道F45号線ほか道路改良	L = 294.7m W = 3.0~4.0m U形溝工 L = 504.5m 特殊L形溝工 L = 514.1m 舗装工 A = 953.0㎡	26,265千円
幹線市道I-12号線舗装改良	L = 480.8m W = 8.0m 舗装工 A = 4,009.0㎡	57,319千円 ・財源内訳 { 都補助金 41,865 一般財源 15,454

成果
<p>日野台5丁目地域の生活道路を、構造物の改良を行い有効幅員を確保し、生活環境の改善を図った。</p>  <p>整備された生活道路</p>
<p>東京都市町村土木補助事業により舗装改良を行い、安全で快適な生活機能の向上を図った。</p>  <p>整備された幹線市道I-12号線</p>

事業名	事業の概要	事業費
日野都市計画道路3・4・14号線交差点改良	L = 417.5m W = 3.8~20.2m ガレール設置工 L = 103.0m 照明灯設置工 3基 街きょ工 L = 81.5m 舗装工 A = 5,070.0㎡	82,400千円 ・財源内訳 都補助金 43,000 一般財源 39,400
幹線市道Ⅱ-15号線ほか舗装改良	L = 2,172.2m W = 3.1m~5.7m U形溝工 L = 114.2m 街築工 L = 206.5m 舗装工 A = 10,091.0㎡	67,980千円

成 果
<p>元年度からの継続事業。4年度の交差点改良事業により東豊田陸橋の通行が可能となり、豊田地区と南平地区を結ぶ南北交通の重要な幹線道路として、交通の円滑化と地域環境の改善に寄与した。</p>  <p>交差点を改良して部分開通した3・4・14号線</p> <p>程久保2丁目地域の生活道路として舗装を改良し、円滑な交通の確保と地域環境の保全を図った。</p>

事業名	事業の概要	事業費
幹線市道Ⅱ-48号線 道路改良	L = 75.3m W = 6.0m~14.0m 車道舗装工 A = 390.0㎡ 歩道舗装工 A = 165.0㎡ 防護柵設置工 L = 139.5m	26,059千円
市道P35号線側溝新設	L = 162.0m U形溝工 L = 113.4m L形溝工 L = 209.6m 舗装工 A = 911.0㎡	18,952千円

成果
<p>矢頭橋は第七小学校及び実践女子大学・都立日野台高校・大坂上中学校・大久保保育園等公共施設とを結ぶ位置にあるため、教育環境の一環として、歩道のカラー化・防護柵のイラスト化など、通学者の安全確保を計るとともに快適な環境改善を図った。</p>  <p>歩道をカラー化し、防護柵を設けた矢頭橋</p> <p>三沢中、第八小、三沢保育園等の通学路・生活道路として、公共用地を利用した排水施設整備を行い、利用者に対して適切な安全確保と生活環境改善を図った。</p>

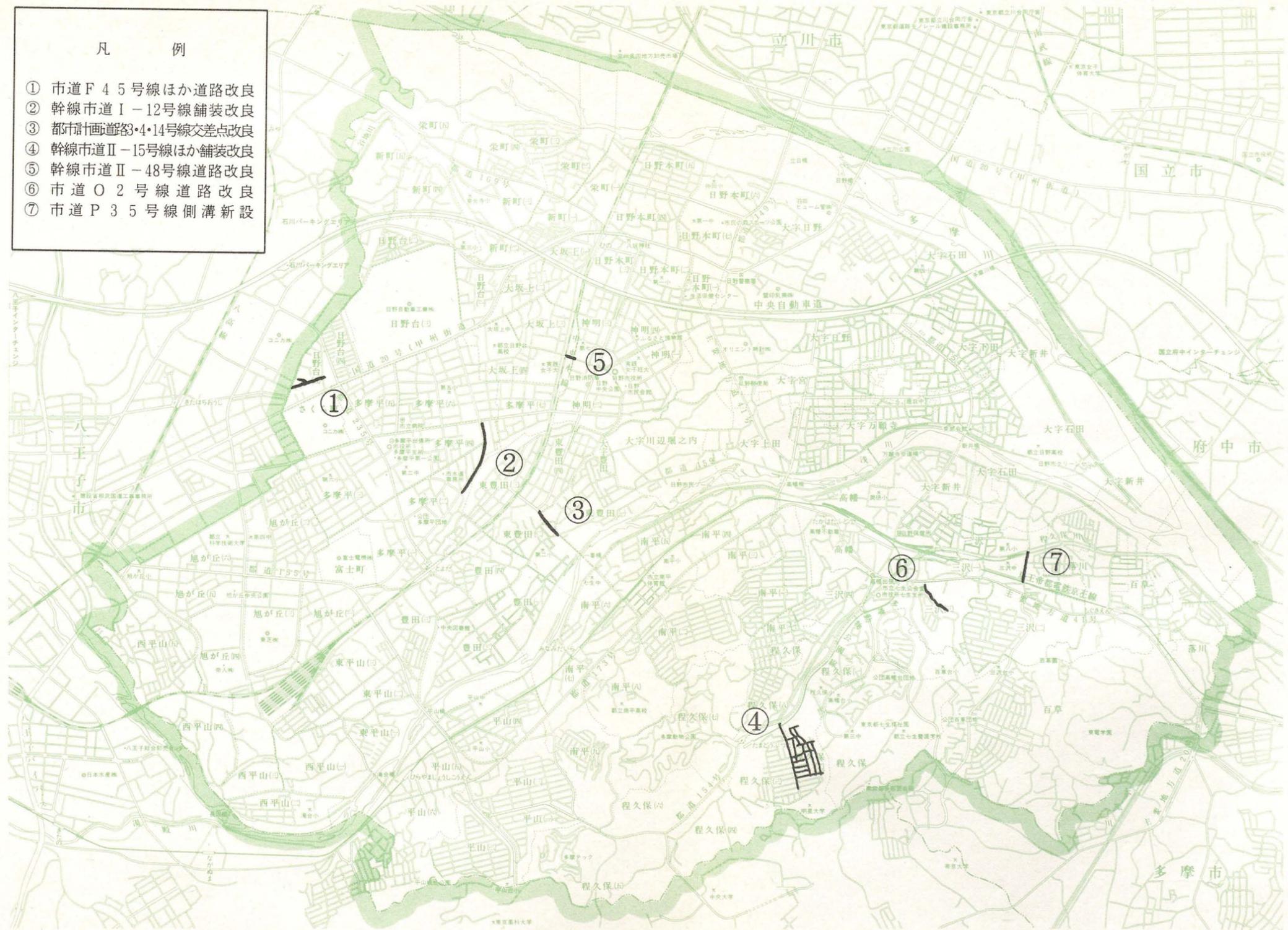
事業名	事業の概要	事業費
市道O2号線道路改良	L = 185.1m W = 6.0m LU形溝工 L = 178.9m L形溝工 L = 165.6m 擁壁工 L = 23.7m 舗装工(インターロッキング) A = 663.0㎡ 舗装工(アスファルト) A = 241.0㎡	50,161千円 ・財源内訳 { 都補助金 21,500 一般財源 28,661 3~4年度 ・全体事業費 101,661千円
緊急補修工事	舗装工 320件 アスファルト合材 580t その他補修 388件 コンクリート製品ほか	9,915千円

成果
<p>都道川崎街道から百草団地へ連絡する幹線道路として整備を行い、車道の拡幅・歩道の新設により、利用者の安全と都市景観の向上及び環境改善を図った。</p>  <p>インターロッキング舗装で改良した市道O2号線</p> <p>近年の自動車交通量の増加により、道路の損傷は激しくなり、維持修繕しなければならない箇所が増大している。市民要望も増大傾向にあり、内容についても騒音振動の防止、道路緑化の補強など多種多様なものが寄せられ、また対応についても、正確でスピーディな処理が要求されている。そのため、常日頃から道路機能が低下しないよう早期発見に努めるとともに、早期対応、応急的措置を直営作業により行い、市民生活の向上を図った。</p>

# 道路改良事業箇所

## 凡 例

- ① 市道F45号線ほか道路改良
- ② 幹線市道I-12号線舗装改良
- ③ 都市計画道路3・4・14号線交差点改良
- ④ 幹線市道II-15号線ほか舗装改良
- ⑤ 幹線市道II-48号線道路改良
- ⑥ 市道O2号線道路改良
- ⑦ 市道P35号線側溝新設



本市の道路は、交通の便を高め、都市の発展に貢献してまいりました。しかし、近年は交通量の増加に伴い、道路の混雑が深刻化し、交通事故の発生も増加しています。また、道路の老朽化が進み、舗装の劣化や側溝の不足など、道路の維持管理に大きな課題が生じています。

本市では、これらの課題を解決するため、道路改良事業を実施することとしました。本事業は、主要幹線道路の舗装改良、交差点の改良、側溝の新設など、道路の安全性と快適性を向上させることを目的としています。

本事業の進捗状況は、随時公表してまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。



事業名	事業の概要	事業費
向島用水親水路整備 (第1期)	L = 130.0m	38,531千円
	玉石護岸工 A = 134.3㎡	○財源内訳 都補助金 36,380 一般財源 2,151
	たたき粘土工 A = 519.0㎡	
	人止柵工 ℓ = 137.0m	
	植栽工	・全体事業費 200,900千円
	中高木 49本	
	低木 1,870株	
	野草 2,851株	
湿生植物 1,036株		
水生植物 711株		

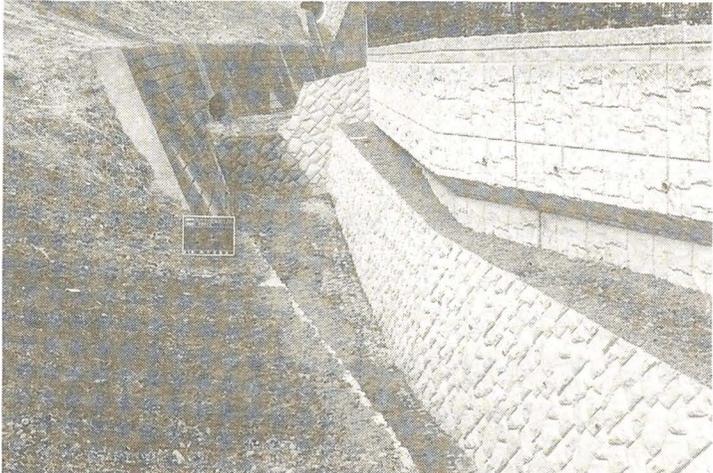
成 果
<p>本事業は、潤徳小学校北側から都道154号線までの区間（総延長398m）を、4年度から3か年計画で実施するものである。</p> <p>急速に進んだ都市化や農地の減少などにより、昔の面影がうすれつつある中で、向島用水のもっている自然的資質を活用し、農業用水としての機能を保ちながら見近な水辺とふれあう環境を整備し、保全を図っていくものである。4年度はうち130mを整備した。</p>

<p>学校内に湧池を作り環境教育の場とした</p>

事業名	事業の概要	事業費
浅川堤遊歩道整備	L = 150.0m 舗装工① A = 16.0 m <sup>2</sup> " ② A = 139.9 m <sup>2</sup> 盛土工 V = 398.5 m <sup>3</sup> 玉石縁石工 l = 46.0m	3,966千円
多摩川堤遊歩道整備	L = 1,196.3m 舗装工(搬路) A = 261.8 m <sup>2</sup> " (高水敷) A = 1,407.3 m <sup>2</sup> " (堤防) A = 1,281.0 m <sup>2</sup> 舗装止工(ブロック) A = 727.5 m <sup>2</sup> " (玉石) A = 468.8 m <sup>2</sup>	22,660千円

成 果
<p>浅川堤を安全で快適な遊歩道に整備した。</p>
<p>多摩川堤を安全で快適な遊歩道に整備した。</p>  <p>整備した多摩川堤遊歩道</p>

事業名	事業の概要	事業費
倉沢川水辺整備 (第1期)	L = 62.6m 補足コンクリート工① ℓ = 27.0m " ② ℓ = 16.5m 河床工 A = 121.0㎡	9,652千円 。財源内訳 都補助金 3,100 一般財源 6,552
向島用水11-4-13号 水路ほか8件改修	用排水路整備 改修工事4件 L = 537.0m 補修工事5件 L = 1,407.9m	60,486千円 。財源内訳 都補助金 6,900 一般財源 53,586

成果
<p>倉沢川の源流部分を、隣接する公園と併せて改良し、市民に親しまれる水辺空間に整備した。</p>  <p>整備・改修した倉沢川源流部</p>
<p>大雨時の浸水防止対策と、用水本来の利用機能を合わせもった改修を行った。また、親水面及び生物が生息できる環境も考慮した改良を加えた。</p>  <p>多自然型工法を用いて整備した水路</p>

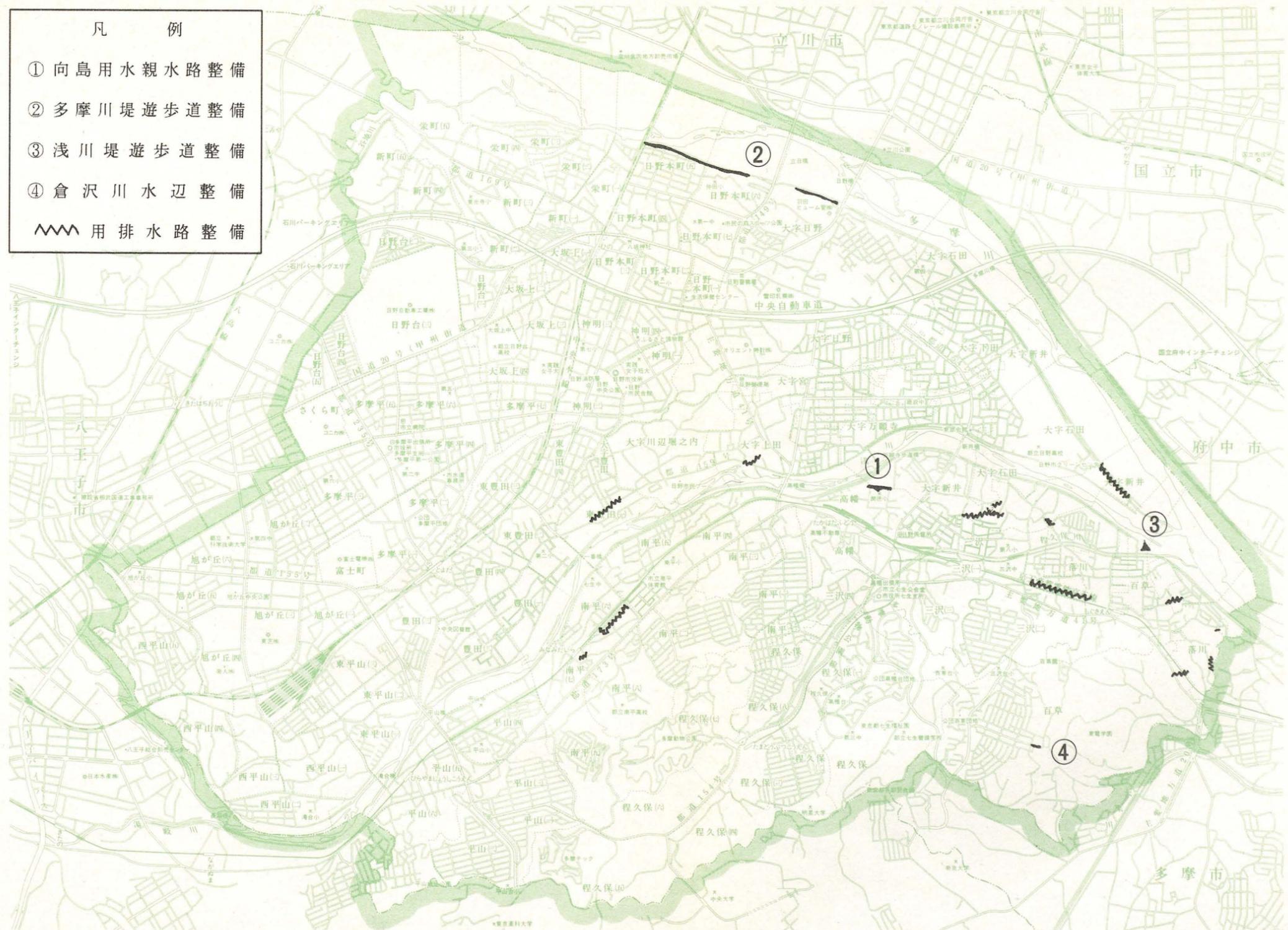


事業名	事業の概要	事業費
湧水水量・地下水位計測	計測地点 湧水 8地点 観測井戸 7地点 計測頻度 毎月2回	2,009千円
水辺資源監視調査	身近な水の健康診断 72カ所 水生生物調査 20地点	2,967千円
水辺環境ビデオ制作	ビデオ「水辺の遊び」の作成	4,275千円
多摩川・浅川合流点自然観察路整備基本計画策定委託	基本計画策定	1,957千円

成 果
将来的な湧水の保全を考えていくための、基礎的データを収集することができた。
身近な水を市民の手で一斉に調査し、水の汚れ具合を把握してもらった。 また、水辺の重要な資源の一つである水生生物の生息状況を監視することにより、この水域の生物学的環境を判断出来た。
様々な水辺の利用のしかたや、遊びを紹介し、市民の水に親しむ意識を高めた。
建設省が策定した「多摩川河川環境管理計画」において、生態系保持空間として位置づけられている当該地域について、積極的な保全策をうちたてるための整備計画を策定した。

用排水路整備事業箇所

- 凡 例
- ① 向島用水親水路整備
  - ② 多摩川堤遊歩道整備
  - ③ 浅川堤遊歩道整備
  - ④ 倉沢川水辺整備
  - 〰 用排水路整備



（黄 木 十）

（計 画）

（一）

（二）

（三）

（四）

（五）

（六）

（七）

（八）

（九）

（十）

（十一）

（十二）

（十三）

（十四）

（十五）

（十六）

（十七）

（十八）

（十九）

（二十）

（二十一）

（二十二）

（二十三）

（二十四）

（二十五）

（二十六）

（二十七）

（二十八）

（二十九）

（三十）

（三十一）

（三十二）

（三十三）

（三十四）

（三十五）

（三十六）

（三十七）

（三十八）

（三十九）

（四十）

（四十一）

（四十二）

（四十三）

（四十四）

（四十五）

（四十六）

（四十七）

（四十八）

（四十九）

（五十）

（五十一）

（五十二）

（五十三）

（五十四）

（五十五）

（五十六）

（五十七）

（五十八）

（五十九）

（六十）

（六十一）

（六十二）

（六十三）

（六十四）

（六十五）

（六十六）

（六十七）

（六十八）

（六十九）

（七十）

（七十一）

（七十二）

（七十三）

（七十四）

（七十五）

（七十六）

（七十七）

（七十八）

（七十九）

（八十）

（八十一）

（八十二）

（八十三）

（八十四）

（八十五）

（八十六）

（八十七）

（八十八）

（八十九）

（九十）

（九十一）

（九十二）

（九十三）

（九十四）

（九十五）

（九十六）

（九十七）

（九十八）

（九十九）

（一百）



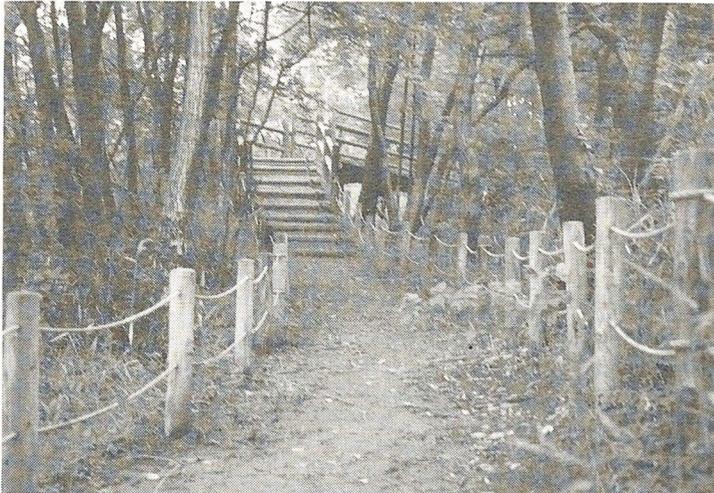
事業名	事業の概要	事業費
日野本町四丁目地区市街地調査	まちづくり構想素案作成 まちづくりニュース作成 住民意向調査	4,738千円
西平山五丁目地区市街地整備調査	現況調査 住民意向調査 地区整備の基本方針作成	6,798千円
生産緑地地区調査	調書作成 2,673 件 計画図作成 1,091 筆	4,184千円
土地利用現況調査	現地調査 土地利用現況図作成	15,553千円 〃 財源内訳 都補助金 5,310 一般財源 10,243
街区表示板設置	街区表示板(電柱巻込) 1,932 枚	6,335千円
町名地番整理調査	三沢一～四丁目 96ha 程久保一丁目 14ha	16,377千円

成 果
3年度に引き続き、日野駅東側周辺のまちづくりを対象とした調査を行った。まちづくりに対する課題を解決すべく具体的な整備手法や、将来の都市像等について住民、権利者の意向を踏まえた分析、検討を行った。
豊田団地の北側、南側に接する地区及び、都市計画道路3・4・15号線の整備方策を検討し、将来のまちづくりの方向を明確にすべく調査、検討を行った。
生産緑地法の改正に伴い、生産緑地地区の指定作業のため、調書及び計画図書の作成を行った。
土地利用計画、各種行政計画などを立案する際の基礎資料とするため、都市計画法・国土利用計画法にもとづき、5年毎に行う土地利用現況調査を行った。
町名地番整理後、街区表示板を設置し、地域での地番の明確化と住民サービスの向上を図った。 東平山、豊田全域、平山三～六丁目、西平山一～四丁目、南平一丁目、東豊田一、二、四丁目の一部
三沢地区及び地籍調査を実施した程久保地区の一部について、地番の明確化を図るため、町名地番整理を実施した。

事業名	事業の概要	事業費
公園施設の維持管理	公園清掃、除草 施設の保守点検 施設整備・修繕 樹木・芝生管理	101,691千円
緑地の維持管理	草刈り、萌芽更新	35,298千円
堀之内緑道整備	施工延長 123.0m 園路広場工 縁石 317.1m 敷石 58.9㎡ 舗装 249.2㎡ 管理施設工 擁壁 38.2m 休養施設工 四阿 1基 修景施設工 植栽 高木 13本 中低木 1,515本	25,029千円

成 果
公園を構成する各種の機能を維持し、増進を図るとともに、安全で快適に利用できるよう、適正な管理を実施した。
樹木の機能を維持するための剪定、刈込み、病虫害防除等行うとともに、樹林地の適正な管理を行うため、ツル草の除去、下草刈り等を行った。また、樹木の再生を図るために萌芽更新の作業を実施した。
<p>浅川親水計画とのネットワーク化を図るため、都市下水路上部用地を有効に利用し、遊歩道、広場、休憩施設等を整備し、安全で快適な散策・休憩の場を確保した。</p>  <p>整備された堀之内緑道</p>

事業名	事業の概要	事業費
ハイキングコース南平 口連絡路整備	施工延長 933.0m 管理施設工 階段（土居木） 225段 栈橋 10.5m 外棚・ロープ棚 413.5m	22,557千円
緑の実態調査	樹木・樹林調査 街路樹調査 緑被・緑視調査 分析・提言	11,639千円
市内動物生息調査	現地調査による生物の実態把握 調査報告書の作成 原稿の作成	3,181千円

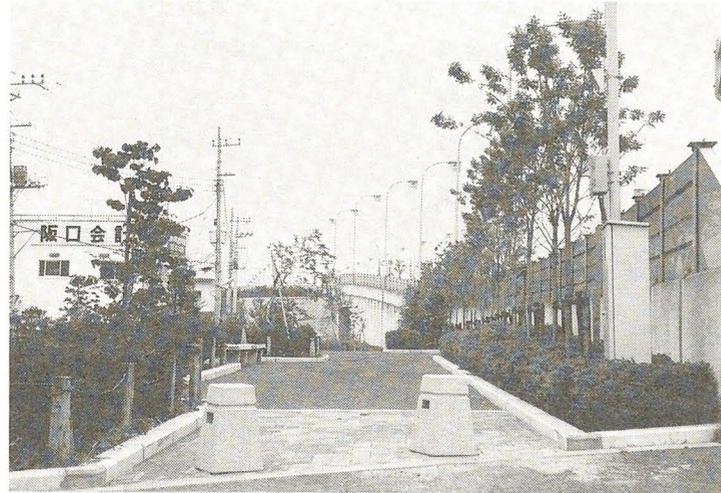
成 果
<p>南平丘陵公園と多摩動物公園周辺のハイキングコースを結び、ネットワーク化を図るための連絡路を整備し、公園利用者の便益と安全な散策の場を確保した。</p>  <p>利用者が安全に歩けるよう散策路を整備した</p>
<p>今後の緑化推進施策を立案する上での基礎資料とするため、市内の樹木・樹林を中心とした緑の現況調査を実施した。</p>
<p>本市の自然環境の保全を目的とした「新・日野の動物ガイドブック」を刊行するため、市内に生息する野生生物の調査を実施した。</p>

事業名	事業の概要	事業費
幹線市道 I - 7 号線 植樹帯設置	施工延長	704.5m
	緑化面積	373.3㎡
	園路広場工	
	舗装	169.0㎡
	植樹帯	373.3㎡
	修景施設工	
	植栽 低木	1,691株
	地被類	207株
		10,609千円
		○ 財源内訳
	都補助金	4,895
	一般財源	5,714
みどりの保護・育成	登録樹及び登録樹林等	2,321千円
	樹木	件数 87件
		本数 240本
	樹林	件数 91件
		面積 672,000㎡
	その他貴重植物	
	件数	8件

成果
<p>東京都接道部緑化事業の補助を受け、既存の並木ますと連続させて植樹帯を設け、花木類を植栽した。</p> <p>道行く人々に花とうるおいのある快適な道路景観を創出し、安全な歩行空間の確保を図った。</p>

<p>緑化された幹線市道 I - 7 号線</p>
<p>みどりの保護育成に関する要綱に基づき、樹木・樹林を所有者の理解と協力により保護していくため、管理に要する経費の一部を補助し、美観、風致の維持を図った。</p>

事業名	事業の概要	事業費
立日橋通り緑地整備	施工面積	654.5㎡
	園路広場工	
	緑石	227.9m
	舗装	290.0㎡
	管理施設工	
	浸透枿	4基
	ロープ棚	112.4m
	車止棚	3基
	休養施設工	
	ベンチ	2基
	修景施設工	
植栽	高木 23本 中低木 772本	
9,837千円		
緑化推進	緑化月間行事	8,327千円
	春の緑化月間(4/1～4/30)	
	秋の緑化月間(10/31～12/4)	
	家庭緑化の日	
	地域緑化・清掃の日	
	園芸講座	
	園芸相談	
	パネル展	
	配布苗菊花コンテスト	
	緑の羽根募金	

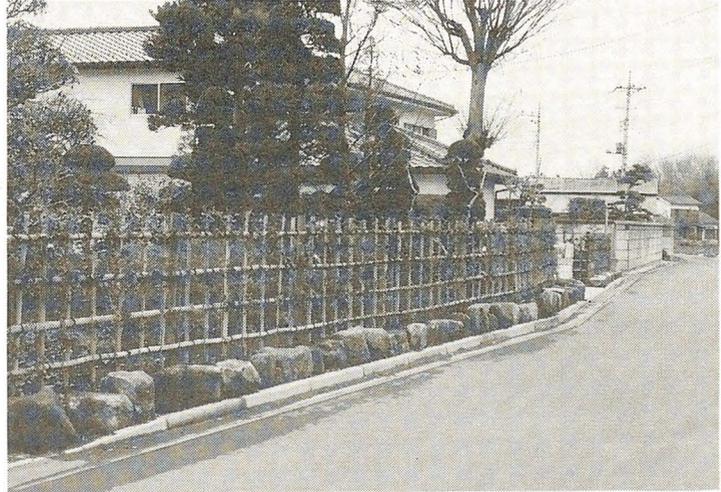
成 果
<p>東京都の道路用地の一部を占用し、遊歩道・広場・ベンチなどの施設を設け、歩行者の利便性と安全性を確保するとともに、地域住民の憩いの場となる緑地の整備を図った。</p>

<p>整備された立日橋通り緑地</p>
<p>(財)日野市環境緑化協会と市の共催で、緑化月間行事を実施した。 月間中の諸事業を通し、市民参加によって身近な緑の創出及び緑化思想の啓発と高揚を図った。</p>
<p>(土 木 費)</p>

事業名	事業の概要	事業費
緑地信託	緑地の保全 契約件数 18件 契約面積 69,748㎡ 緑地保全用地の管理 下草刈り箇所 24箇所 実施面積 56,900㎡ 緑地保全料 支払件数 8件 面積 32,387㎡	22,424千円
花卉植付	グリーンベルトほか 花壇等花卉植付	7,949千円
市の花普及	鑑賞用菊の栽培と展示普及のための菊苗の配布 傘菊 7,000本 ポットマム・スプレー菊 19,000本	3,715千円

成 果
<p>緑地信託等に関する条例に基づき、樹林地の緑を存続するため、所有者の理解と協力を得て事業の推進に努めている。また、樹林地の下草刈りや看板の設置など一般的な維持管理を実施した。</p>

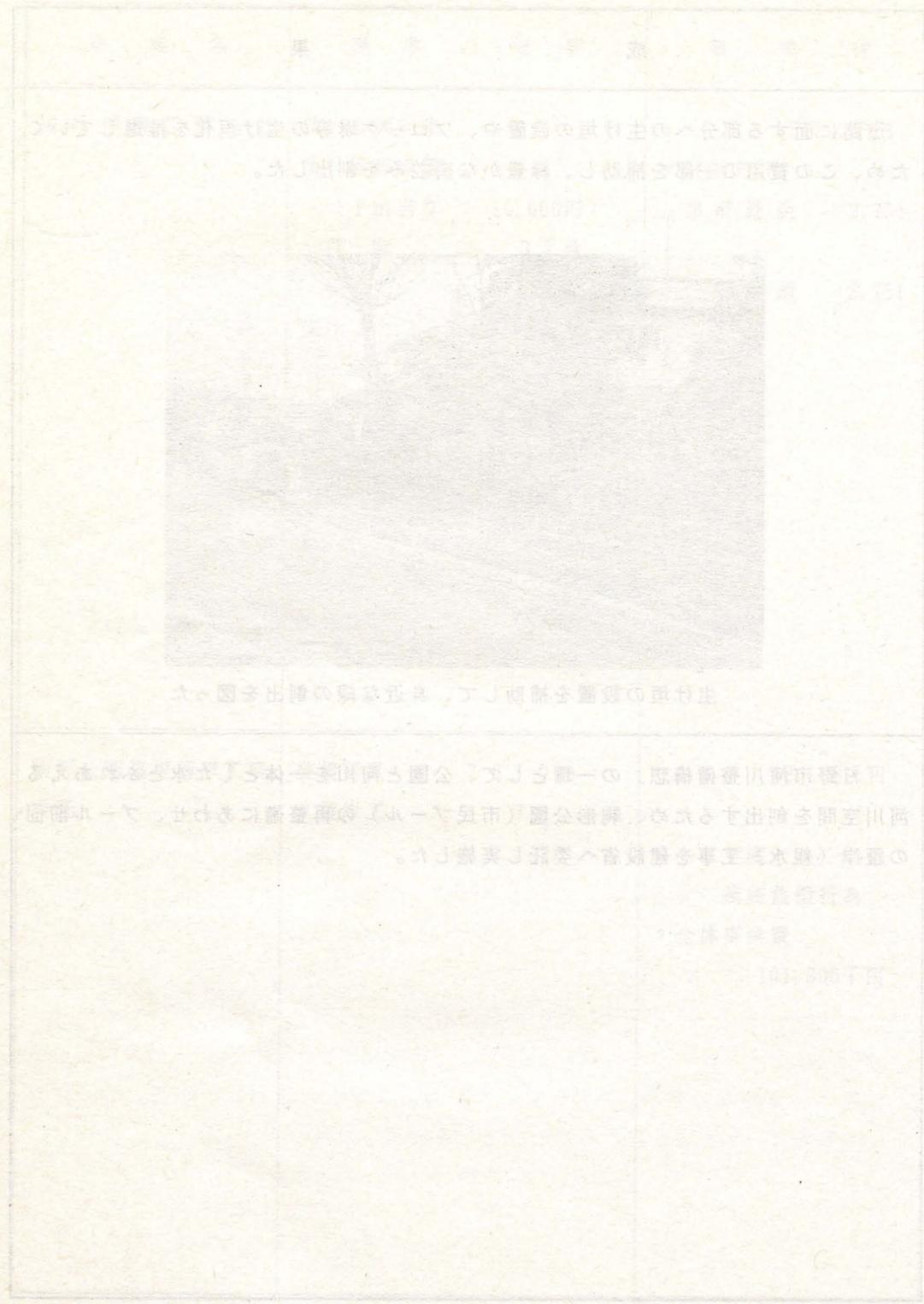
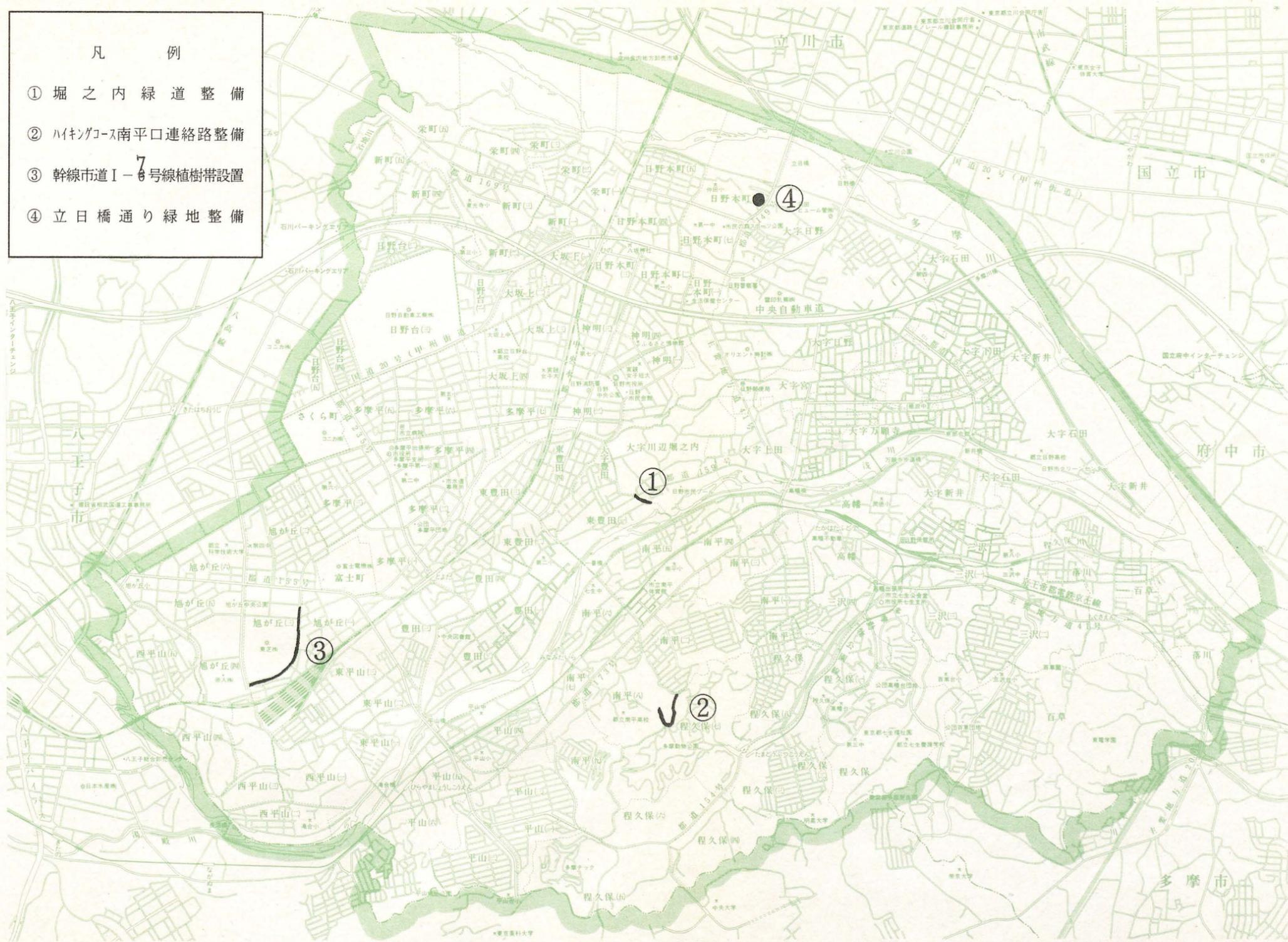
<p>緑地信託の推進と拡大を図った</p>
<p>(財)日野市環境緑化協会への委託事業として、四季を通し花壇への花卉類の植付けを行い、うるおいと安らぎのある街づくりに努めた。</p>
<p>市の花に指定されている菊花の栽培を、日野市菊友会及び(財)日野市環境緑化協会へ委託し、庁舎等に展示して市民に花の紹介をするとともに、小学校、老人クラブ、一般市民へ菊苗を配布するなど、この普及に努めた。</p>

事業名	事業の概要	事業費
生け垣等設置補助	市内全域対象 生け垣等設置 (1m当り 10,000円) 件数 32件 総延長 534m 生け垣化 (ブロック塀等とりこわし) (1m当り 6,000円) 件数 3件 総延長 27m	5,502千円 ・財源内訳 都補助金 2,751 一般財源 2,751
駒形公園築堤護岸工事委託	整備延長 76.0m 護岸工 76.0m	42,168千円 4～5年度 債務負担行為 ・全体事業費 101,305千円

成果
<p>道路に面する部分への生け垣の設置や、ブロック塀等の生け垣化を推進していくため、この費用の一部を補助し、緑豊かな街並みを創出した。</p>  <p>生け垣の設置を補助して、身近な緑の創出を図った</p>
<p>「日野市河川整備構想」の一環として、公園と河川を一体とした水とふれあえる河川空間を創出するため、駒形公園（市民プール）の再整備にあわせ、プール前面の護岸（親水）工事を建設省へ委託し実施した。</p>

緑化・公園整備事業箇所

- 凡 例
- ① 堀之内緑道整備
  - ② ハイキングコース南平口連絡路整備
  - ③ 幹線市道Ⅰ-7号線植樹帯設置
  - ④ 立日橋通り緑地整備





事業名	事業の概要	事業費						
地域特別賃貸住宅供給	<p>中堅所得者等の住居の安定を図り、良好な賃貸住宅を供給するため一般ファミリー型として入居を図った。</p> <p>建物名称、市民住宅 「かしわ荘」</p> <p>入居開始 平成4年11月1日 建築戸数 1棟3DK18戸 建築構造 フレキシブル3階建</p>	<p>22,267千円</p> <p>・財源内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>国庫補助金</td> <td>11,133</td> </tr> <tr> <td>都補助金</td> <td>5,567</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>5,567</td> </tr> </table>	国庫補助金	11,133	都補助金	5,567	一般財源	5,567
国庫補助金	11,133							
都補助金	5,567							
一般財源	5,567							

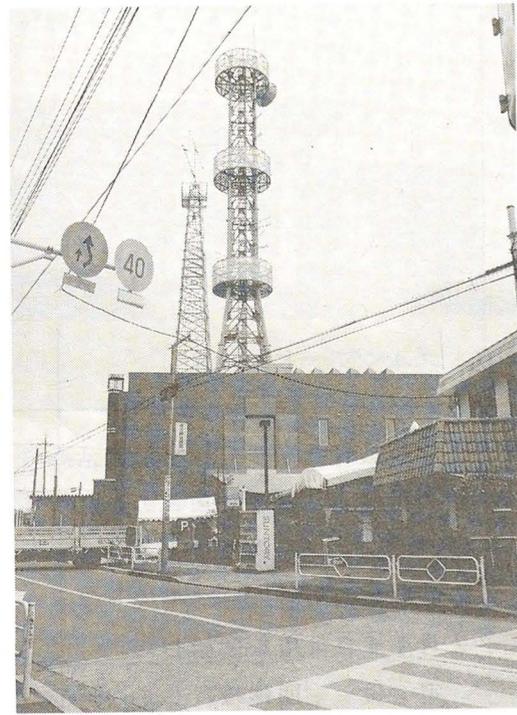
成果
<p>3、4年度継続事業。土地所有者の協力を得て、市の仕様により建築されたファミリー型住宅で、全国市町村で初めて施行し多大な成果があった。</p> <div data-bbox="1582 421 2300 924" data-label="Image"> </div> <p>市民住宅「かしわ荘」</p>

消 防 費

事業名	事業の概要	事業費
消防水利整備	消火栓新設ほか 新設 32基	35,981千円
	耐震用貯水槽 2基	18,694千円
災害対策事業	防災備蓄コンテナ 3基 〔程久保小学校〕 〔旭が丘小学校〕 〔仲田小学校〕	3,794千円

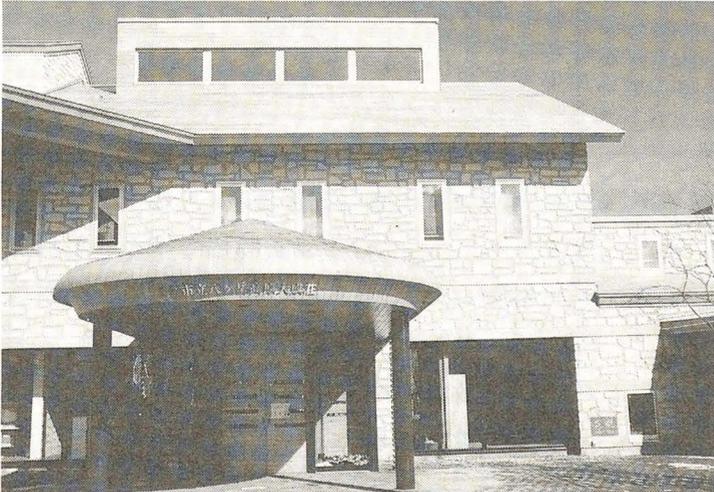
成 果
消火活動における水利の中心となる消火栓32基の新設及び既設消火栓の維持管理を行い、消防水利の充実を図った。
震災時に備えて、耐震用貯水槽60t及び40tを新設し、消防水利の充実を図った。
災害時における食糧及び生活必需品等の備蓄コンテナを設置し、その対応を図った。 現在、アルファ米約7,300食、乾パン約64,000食、毛布1,690枚、緊急医薬品セット等を市内小学校16校に配備している。

事業名	事業の概要	事業費
防災情報センター建設	敷地面積 1,387.00㎡ 延床面積 984.73㎡ (構造) 鉄筋コンクリート造 2階建(地下1階) 鉄塔 H=33m	1,207,574千円 (通信システム 418,000) ○ 財源内訳 都補助金 300,00 都負担金 38,625 地方債 845,700 公共施設建設基金 100,000 一般財源 193,249

成 果
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災情報センター建設                災害時に正確な情報を収集し、市民に伝達するためのセンターの建築を平成3年度、4年度に行った。</li> <li>○ 緊急通信システム工事                災害時に市民に正確な情報を伝えるためのシステムの構築を行い、市民生活の安全性の向上を図った。</li> </ul> <p>同報無線 親局1、屋外子局42            地域防災系無線 統制局1、中継局1、半固定局21、            車載局14、携帯型10</p>

<p>完成した防災情報センター</p>

教 育 費

事業名	事業の概要	事業費
大成荘改築	敷地面積 14,237㎡ 延床面積 2,816㎡ (構造)鉄筋コンクリート造2階建 (一部3階建) (用途)林間・保養施設 (主な施設) 個人棟 10室 団体棟 10室 食堂、多目的室、天体観測 広場、キャンプ場他	1,368,601千円 ○ 財源内訳 地方債 685,500 公共施設建設基金 300,000 一般財源 383,101 3～4年度 債務負担行為 ○ 全体事業費 1,427,871千円
八ヶ岳高原大成荘運営	学校教育活動及び社会教育活動の振興並びに一般市民のレクリエーション活動に資するための林間宿泊施設として平成5年2月14日供用を開始した。 定員 { 団体棟 60人 一般棟 47人 休業日 毎月第3週の火、水曜日 (8月を除く)	24,796千円

成 果												
<p>大成荘は昭和40年に建設されたが、老朽化により建替え問題が出されていた。このため、平成元年度基本計画、平成2年度実施設計に基づき、平成3年9月に着工、平成5年1月に竣工し2月にオープンした。</p> <p>子供たちの林間施設として、また、余暇時代を迎え、市民生活をより豊かにする施設として多くの市民に利用されている。</p>												
												
<p>完成・オープンした大成荘</p>												
<p>八ヶ岳山麓に広がる標高 1,300mの高原に位置し、景観と調和した落ちついた施設と行き届いたサービスが利用者の好評を得ている。</p> <table border="0"> <tr> <td>利用実績</td> <td>大人</td> <td>1,043人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>子供(小学生)</td> <td>146人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>幼児</td> <td>58人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>1,247人</td> </tr> </table>	利用実績	大人	1,043人		子供(小学生)	146人		幼児	58人		合計	1,247人
利用実績	大人	1,043人										
	子供(小学生)	146人										
	幼児	58人										
	合計	1,247人										

事業名	事業の概要	事業費
第三小学校大規模改造	<ul style="list-style-type: none"> <li>北校舎1/3部分(中央部)に関する改修工事 <ul style="list-style-type: none"> <li>建具改修(スチール→アルミ)</li> <li>暖房・換気設備改修</li> <li>外壁・室内改修</li> <li>給排水衛生設備改修</li> <li>電気設備改修</li> </ul> </li> </ul>	146,260千円 ・財源内訳 <ul style="list-style-type: none"> <li>国庫補助金 28,571</li> <li>都補助金 32,100</li> <li>一般財源 85,589</li> </ul>
高幡台小大規模改造	<ul style="list-style-type: none"> <li>外壁補修工事(延床面積3,631㎡) <ul style="list-style-type: none"> <li>外壁モルタルコンクリート面補修</li> <li>シーリング工事</li> <li>内部改修・塗装工事他</li> </ul> </li> <li>電気設備工事</li> </ul>	87,035千円
第八小学校屋内運動場大規模改造	<ul style="list-style-type: none"> <li>建具改修(スチール→アルミ)</li> <li>カラー鉄板カバー工法による屋根改修</li> <li>既存外壁撤去の上軽量気泡コンクリート板貼替</li> <li>電気設備工事</li> </ul>	67,156千円 ・財源内訳 <ul style="list-style-type: none"> <li>国庫補助金 17,910</li> <li>都補助金 20,500</li> <li>一般財源 28,746</li> </ul>

成 果
<p>昭和41年～42年度に建設された北校舎は、建築後20年以上が経過し老朽化が著しいため、大規模改造工事を実施し教育環境の整備を図った。</p> <p>平成3～5年度までの3年計画で実施する予定である。</p>
<p>校舎屋上防水と外壁の劣化による雨漏りが発生、これが校内電気配線へ流入し事故につながる可能性もあることが確認された。</p> <p>今後の施設の維持管理と安全性を確保するため、屋上防水・外壁・電灯器具の改修を実施した。</p> <p>平成4～5年度の2か年で実施する予定である。</p>
<p>昭和47年に建設された体育館は、老朽化が進み、外壁の汚れ、窓枠建具の腐食、屋根防水の劣化など改修が必要な状況にあるため、大規模改造を実施し、施設の維持と安全の確保を図った。</p>

事業名	事業の概要	事業費
小学校給食室改修	潤徳小学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 給食室改修(177.22㎡)</li> <li>◦ 電気設備改修</li> <li>◦ 機械設備改修</li> </ul>	76,632千円
	平山小学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 給食室改修  内部全面改修(147.91㎡)  増築(9.80㎡)</li> <li>◦ 電気設備改修</li> <li>◦ 給排水衛生換気設備改修</li> </ul>	64,252千円
百草台小学校給水管改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 給水設備工事</li> <li>◦ 衛生器具設置工事</li> </ul>	7,910千円

成 果
<p>昭和40年に建設され、老朽化が著しい給食室内部及び給配水衛生設備について改修し、保健衛生、労働安全の確保を図った。</p> <p>平成3年度の実施設計に基づく改修である。</p> <p>給食室の全面改修は平成3年度の第二小学校を皮切りに、今後順次実施していく予定である。</p>
<p>昭和41年に建設され、老朽化が著しい給食室内部及び給排水衛生設備について改修し、保健衛生、労働安全の確保を図った。</p> <p>平成3年度の実施設計に基づく改修である。</p>
<p>B棟埋設給水管及びパイプスペース内縦管に著しい腐食がみられ、漏水が発生していた。当該小学校の土壌は電位差が大きく埋設管が腐食しやすい状況にあるため、露出配管で改修を実施した。</p> <p>なお、A棟については平成3年度に実施している。</p>

事業名	事業の概要	事業費
生活科整備	第二小学校 動物の遊び場広場新設 給排水設備新設	3,708千円
	第六小学校 造形砂場及び給排水設備の新設	4,408千円
	滝合小学校 畑の新設(469㎡)他	4,223千円
	高幡台小学校 小川、池の新設他	4,841千円
	程久保小学校 飼育舎増築及び給排水設備新設	3,708千円
	旭が丘小学校 畑の新設(174㎡)他	3,687千円
百草台小学校余裕教室活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 既存普通教室1室を和室に改造</li> <li>◦ 電気・換気設備工事</li> </ul>	8,322千円

成 果
<p>平成元年3月の学習指導要領の改定によって、小学校低学年を対象に体験学習を重視した『生活科』が平成4年4月から新設されることになった。このことによって、頭で学ぶだけでなく、身近な社会や自然を観察したり、動植物を育てる活動を通して、体全体で学ぶことの大切さが重視されることになった。</p> <p>この事業は、平成3年～5年度の3年計画で全校に実施する予定である。</p>
<p>余裕教室活用検討委員会の答申に基づき、学校教育を質的に充実するとともに、家庭や地域との「生き生きとした関係」を作るため、余裕教室の活用を図った。</p> <p>当該学校区は団地内であるため、日頃なじみが薄い和室に改造することによって、日本の伝統的な生活様式、文化を体得する機会を作った。</p>

事業名	事業の概要	事業費
ランチルーム整備	程久保小学校 建具改修・天井張替 室内全面塗装 照明器具取替	6,283千円 (他工事費含む)
	三沢台小学校 建具改修 室内全面塗装	2,925千円
	ランチルーム備品設置 第二小・潤徳小・百草台小	4,567千円
生ごみ分解機設置	設置校 第六小、三沢台小 設置台数 各校1台	6,190千円
小学校パソコン設置	設置校 市立小学校 全20校 設置台数 各校1台	14,626千円 ○財源内訳 国庫補助金 1,380 一般財源 13,246

成 果
平成元年度からランチルーム用備品の設置、2年度から余裕教室をランチルームに改造してきたが、4年度も全体計画に基づき、3校分の備品設置、2校の改造を実施した。
学校給食から出る生ごみを1日20kg処理し、ごみの減量に役立った。
学級指導要領の改訂により中学校でコンピュータ教育が取り入れられたことに伴い、小学校において、早期にコンピュータに慣れ親しみ、基礎的能力の育成を図るため設置した。

事業名	事業の概要	事業費
社会人講師活用	各小・中学校の教育活動の中に、地域の社会人講師を導入し、児童・生徒の直接体験を豊かにするとともに地域に対する心情を豊かにすることをねらいとしている。2時間を1単位とし、年間各校20単位まで活用することができる。	2,107千円
第三中学校屋内運動場大規模改造	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 建具改修（スチール→アルミ）</li> <li>◦ 床全面改修</li> <li>◦ 既存外壁撤去の上軽量気泡コンクリート板貼替</li> <li>◦ 電気設備・給排水設備改修</li> </ul>	86,006千円

成果
<p>体験学習の重視、生活科の推進など柔軟な教育活動が求められている中で、地域に伝わる伝統文化、農作業の体験、JRや郵便局職員の仕事の実情等を聞いたり、楽器演奏や合奏の指導を受けたり、中学生の進路指導面では地域の商店主などによる社会体験談を聞くなど、通常の授業に比べて、非常に目新しいものであるとともに、授業では得られない生きた情報に接することで非常に意義のあるものになっている。</p> <div data-bbox="1582 624 2300 1116" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">第一小、6年生の茶道教室</p>
<p>昭和48年に建設された体育館は老朽化が進み、外壁の汚れ、窓枠建具の腐食、アリーナ床のたわみなど改修が必要な状況にあるため、今後の施設維持、安全確保を図るため全面改修を実施した。</p>

事業名	事業の概要	事業費
中学校校庭整備	第三中学校 校庭舗装 9,000㎡ 集水柵設置 12カ所 歩道舗装 126㎡ 他	44,290千円
	第四中学校 校庭舗装 7,628㎡ 集中柵設置 9カ所 バレーポスト・バスケットゴール 設置他	62,572千円
大坂上中学校食堂空調整備	空調機整備工事 換気設備工事 ガス設備工事	20,600千円

成 果
<p>当該校は丘陵の北斜面を切土して造成したため、多量の雨水が校庭内に流入する。このことによって授業や地域開放にも支障が生ずるため、校庭外周の排水溝の整備を中心に改修を行った。</p>
<p>校庭は一定の年数が経過すると排水不良、表土の荒れ等で使用上支障が生じてくる。当該校は片勾配で降雨のたびに表土が流出するため、排水対策を構じたうえで、校庭の整備を実施した。</p>
<p>平成3年度までに、中学校8校に食堂が整備されたが、食堂は食事や課外活動だけでなく、地域にも開放される施設として造られているため、冷房設備を設置することによって、より有効に使用できることとなった。</p>

事業名	事業の概要	事業費
中学校パソコン設置 及び教室整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 設置及び整備校 七生中、三中、平山中</li> <li>◦ 設置台数 各校21台</li> <li>◦ 整備個所 床改修(OAフロアカーペット敷) 壁塗装・天井改修・ホワイトボード設置 電気設備工事 冷暖房設備工事</li> </ul>	<p style="text-align: right;">92,330千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 財源内訳</li> <li style="margin-left: 20px;">国庫補助金 7,692</li> <li style="margin-left: 20px;">一般財源 84,638</li> </ul>
第一幼稚園プール及び 建具改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 既存シート防水材撤去の上、 弾性強化プラスチック防水塗布</li> <li>◦ プールサイド改修</li> <li>◦ 保育室出入口建具改修 (スチール→アルミ)</li> <li>◦ 便所ブース取り替え</li> </ul>	10,392千円
第三幼稚園屋根改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 西園舎保育室屋根改修</li> <li>◦ 外灯2基設置</li> </ul>	3,048千円

成 果
<p>学習指導要領が改訂され、平成5年度から中学校の技術家庭科にコンピュータ授業が取り入れられることになったため、これに必要な整備を行った。</p> <p>平成2年度から年次計画で実施してきたものであるが、平成4年度をもって全校にコンピュータが設置された。</p>

<p>三中パソコン教室</p>
<p>昭和40年に開園した園舎は老朽化が著しく、施設、設備の劣化は限界に達しているため、日常の保育に支障が生ずる部分を中心に改修した。</p>
<p>昭和41年に開園、雨漏り防止のための改修を実施するとともに、職員等の安全を確保するため外灯を設置した。</p>

(教育費)

事業名	事業の概要	事業費
市民文化祭30周年行事委託	日野市民文化祭30周年記念事業としてベートーベン交響曲第九番（合唱付）演奏会を実施 期日 平成4年12月13日（日） 会場 日野市民会館大ホール	1,797千円
子ども会連合会25周年記念補助	日野市子ども会連合会25周年記念事業として 「子ども会まつり」を実施及び記念誌を発行 期日 平成4年11月1日（日） 会場 市民の森「スポーツ公園」	300千円
遺跡講座・小学校出張展示『出前いっちょう』	小学校6年生を対象にした歴史講座。所要時間45分。 期間 平成4年4～5月 学校数 5校	0千円
遺跡講座『日野の歴史を語り継ごう』	市民を対象にした歴史講座。所要時間 120分／回。 日時 平成4年11月29日 " 12月13日 平成5年1月24日 " 2月20日 " 2月28日 場所 日野市埋蔵文化財整理保管室	150千円

成	果
参加者 参観者	305名 1,100名
参加者 子供 大人 合計	1,500人 500人 2,000人
	記念誌「日子連だより」版 5,000部発行
	土器・遺物等を小学校に持ち込み触れてもらう。 平易な内容により好評をえた。 聴講者数 5校、462人（小学校6年生）
	縄文時代～中世にかけての各時代を5回にわけて専門の講師（5人）に講演していただき、好評をえた。 延べ聴講者数 175人

事業名	事業の概要	事業費
学校週5日制に伴う遺跡講座	平成4年9月第2週からの学校週5日制に伴い、市内小中学生を対象にした歴史講座を行った。 日時 平成4年9月12日 " 11月14日 " 12月12日 平成5年3月13日	2千円
ふるさと博物館 企画展「太古からのメッセージ～多摩川から出たゾウ化石」	期間 7月1日～8月30日 展示内容 日野で発見されたアケボノゾウの化石を中心に据えた日野の自然史 講演会 「ゾウの進化」 講師 犬塚 則久 「多摩地域にアケボノゾウがいた頃」 講師 菊地 隆男 体験学習会 「木更津化石採集会」 「化石のレプリカ作り」 観覧者数 4,230人	10,160千円

成 果
<p>毎回趣向をかえてその都度募集を行い好評をえた。市内の遺跡探訪や、体験発掘、土器の立体パズルづくりなどを行い文化財の大切さを広めた。 延べ聴講者数 77人（全4回）</p> <p>日野市の多摩川河床から平成2年8月に150万年前のアケボノゾウの牙の化石が発見された。 そのアケボノゾウの化石を中心にして150万年前の多摩地域の様子やその時代にいた生物の化石についての展示を行い、展示に関連した体験学習会として「化石採集会」や「化石のレプリカ作り」といった催しを行った。市民が自然に対する興味や関心を持つきっかけとなった。</p>

<p>企画展「太古からのメッセージ」風景</p>

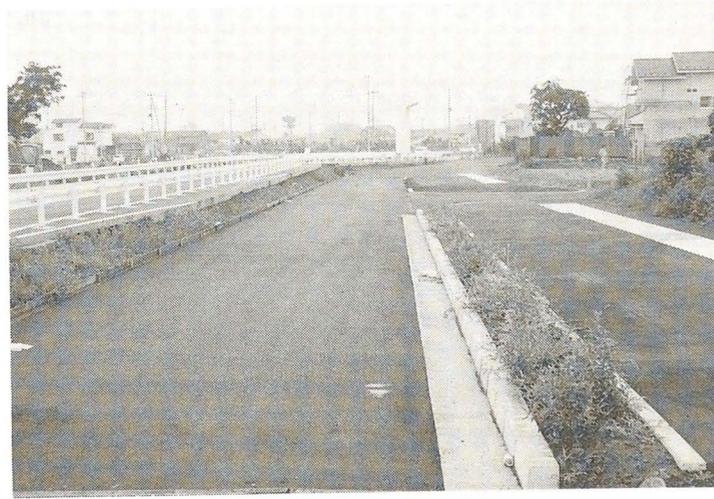
事業名	事業の概要	事業費
「日野の自然環境 — 緑と清流のまち —」ビデオ制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビデオ作成</li> <li>ガイドマップ（環境図鑑）作成</li> </ul>	5,377千円 〃 財源内訳 { 都補助金 4,300 一般財源 1,077
視聴覚資料マーク作成	マークの作成 1,438件 CD架 1台、視聴用CDプレイヤー1台、CD・レコード収納箱2個の購入	2,925千円
日野市民プール改築工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>50mプール及び25mプール構造=ステンレス</li> <li>管理棟 延床面積 424.5㎡ 構造=鉄筋コンクリート（一部木造）</li> </ul>	214,580千円 〃 財源内訳 { 地方債 63,500 公共施設建設基金 100,000 一般財源 51,080
多摩平テニスコートフェンス改修工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>高さ 3.0m</li> <li>長さ 64m</li> <li>幅 35m</li> </ul>	9,579千円 〃 財源内訳 { 都補助金 2,181 一般財源 7,398
日野市民ふれあいスポーツレクリエーションフェスティバル	日時 平成4年10月10日 場所 日野市民陸上競技場  大なわとびほか10種目のプログラムを実施した。	3,500千円

成 果
ビデオの貸出し、ガイドマップの配布を通して、市民が市内を歩いて日野市を知り、環境やまちづくりへの関心を高め、生活実感や郷土愛を培うきっかけをつくることができた。
視聴覚資料（CD、カセットテープ等）を、図書、雑誌等と同じように電算で管理し、利用者に貸し出すための準備として、マーク作成、配架のためのCD架の購入等を行った。
昭和40年に建設以来、市民に親しまれてきたが、設備の老朽化等により改築することになった。 第一期工事の平成4年度分として、31.77%の出来高率で改築され、50m・25mプールが平成5年夏から利用されることになった。
昭和40年開設したが、ネットフェンスも腐食しており、また門扉も十分に閉まらない状態で管理上支障が出ていたため改修した。
だれでも気軽に参加できる種目を選定して健康保持と体力づくりを通じて家族と地域社会のつながりを深めることができた。  参加者数 3,055人

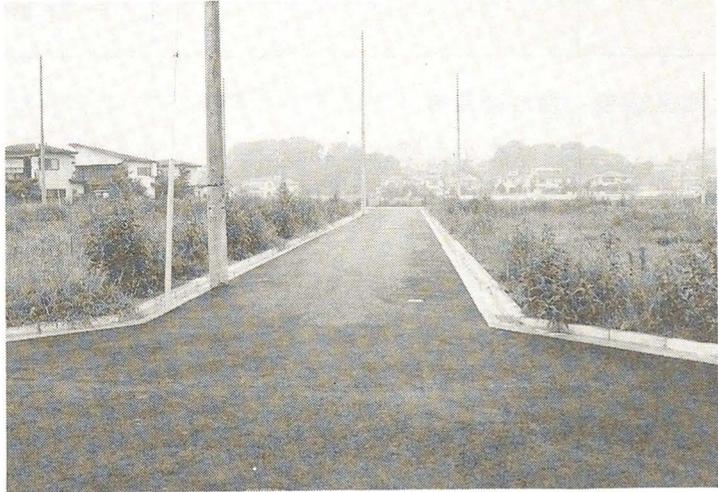
土地区画整理事業特別会計による事業

土地区画整理事業特別会計

事業名	事業の概要	事業費
万願寺土地区画整理	工事、補償等 (施行面積127.2ha)	2,347,509千円 ・財源内訳 国庫支出金 421,739 都支出金 244,150 保留地処分金 1,316,882 その他 1,773 一般財源 362,965 ・全体事業費 33,757,000千円
高幡土地区画整理	工事、補償等 (施行面積16.8ha)	212,585千円 都交付金を含む執行額 627,585千円 ・全体事業費 5,580,000千円

成	果
都市計画道路の築造及び建物の移転等を実施した。	
都市計画道路築造	W = 37 m      L = 71.5 m
区画街路築造	W = 4 ~ 12 m      L = 1333.48 m
水路築造	W = 2 m      L = 62.4 m
建物移転	79棟
	
都市計画道路 日野3・4・8号線(その4)築造工事	
区画街路の築造及び建物の移転等を実施した。	
区画街路築造	W = 4 ~ 6 m      L = 754.20 m
建物移転	3棟

事業名	事業の概要	事業費
豊田南土地区画整理	工事、補償等 (施行面積 87.1ha)	642,511千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 財源内訳</li> <li>  { 国庫支出金 110,000</li> <li>    都支出金 83,250</li> <li>    その他 170</li> <li>  一般財源 449,091</li> <li>◦ 全体事業費</li> <li>  39,760,800千円</li> </ul>
豊田南地区立体換地調査	立体換地の検討業務	23,690千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 財源内訳</li> <li>  { 国庫支出金 7,000</li> <li>    都支出金 14,000</li> <li>    一般財源 2,690</li> </ul>

成 果
<p>区画道路築造及び建物移転等を実施した。また、仮換地指定を一部行った。</p> <p>区画道路築造      W = 5 ~ 6 m      L = 608.54 m</p> <p>建物移転            7棟</p> <p>事業用地取得        214㎡</p>

<p>区画道路築造第6号工事</p>
<p>駅前に隣接する街区に立体換地手法を導入するための可能性について、調査、検討を行った。</p>

事業名	事業の概要	事業費
豊田南口駅前地下駐車場整備設計	実施設計業務	128,783千円 ・財源内訳 { 国庫支出金 42,000 (繰越明許分 29,000千円含む) 一般財源 86,783
万願寺第二土地区画整理	換地業務等 (施行面積 46.4ha)	50,256千円 { 都交付金を含む執行 額 139,256千円 } ・全体事業費 21,000,000千円
西平山土地区画整理	事業認可前・後の諸業務 (施行面積 91.4ha)	138,867千円 ・財源内訳 { 国庫支出金 11,000 都支出金 4,500 その他 1 一般財源 123,366 } ・全体事業費 38,900,000千円
西平山地区立体換地調査	立体換地の検討業務	13,081千円 ・財源内訳 { 国庫支出金 4,000 都支出金 4,000 一般財源 5,081

成 果
<p>駅利用者の利便性の向上と商業の活性化を図るため、駅前広場と日野3・4・15号線の地下を利用し、約200台の公共駐車場(地下2階、自走式)を整備するための実施設計及び地質調査を行った。</p>
<p>仮換地案の発表に向けての換地設計業務を行った。</p>
<p>事業計画決定に伴う説明会を開催した。            また、現況補足測量及び街区確定測量(計算)等の作業を実施するとともに、まちづくり事務所を開設した。            ・事業認可公告 平成4年12月9日</p>
<p>立体換地手法による集約換地手法の実施の可能性について調査、検討を行った。</p>

事業名	事業の概要	事業費
東町土地区画整理	換地業務等 (施行面積 34.5ha)	83,667千円 ・全体事業費 16,812,000千円
豊田駅南口周辺市街地 整備計画調査	調査及び資料作成業務	3,966千円
日野駅北土地区画整理 事業測量	測量業務	4,996千円
土地区画整理事業位置 図作成	位置図作成業務	1,473千円

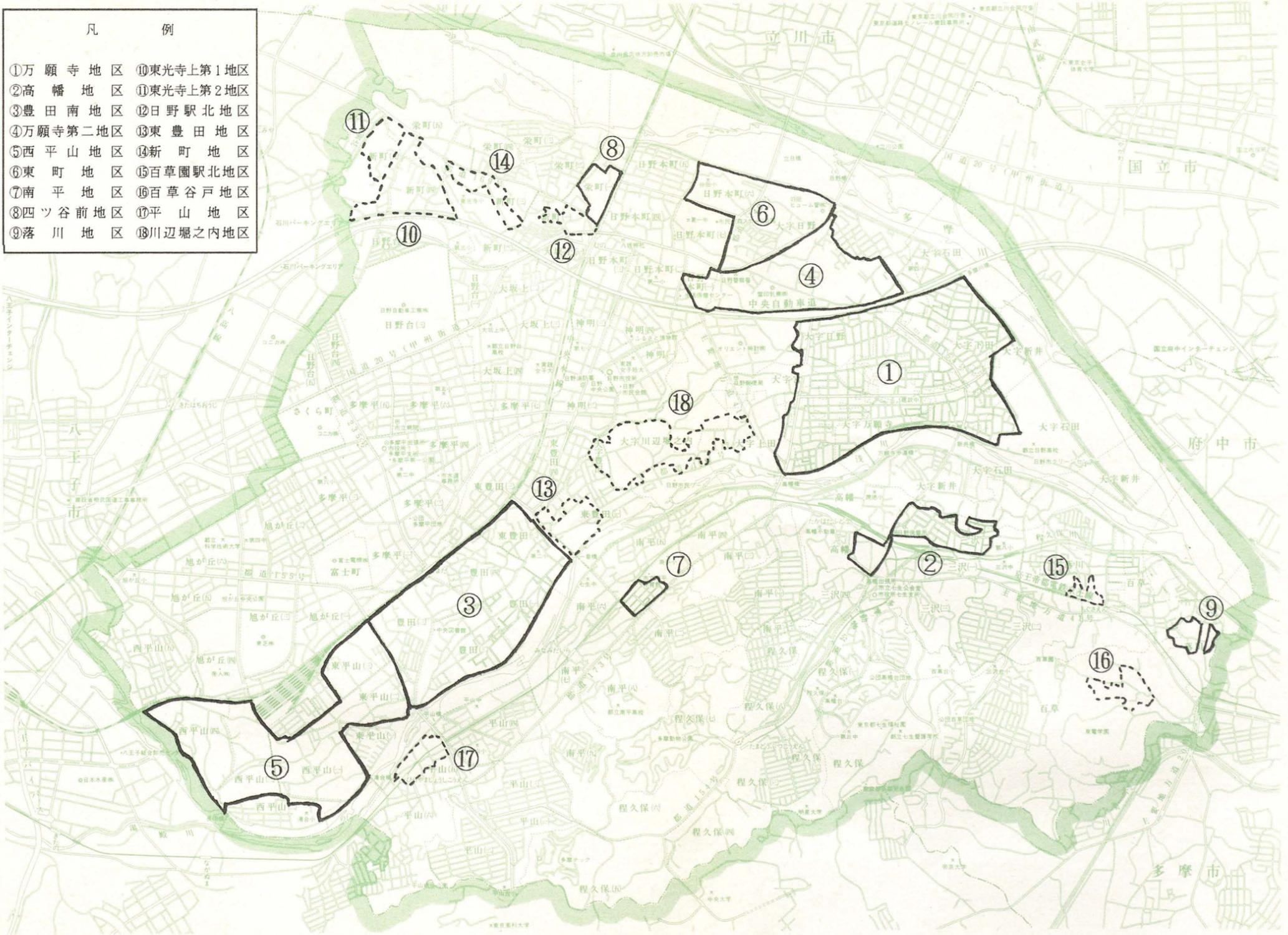
成 果
<p>事業計画決定に伴う説明会を開催した。 また、現況補足測量及び街区確定測量(計算)等の作業を行った。 ・事業認可公告 平成4年9月18日</p>
<p>まちづくり調査及び権利者説明のための資料作成を行った。</p>
<p>日野駅北地区の組合設立認可に向けての基準点・現況補足測量等の作業を行った。</p>
<p>東町、西平山地区の事業認可及び組合施行地区の発足に伴い、新たに位置図を作成した。</p>

事業名	事業の概要	事業費
組合等施行地区助成	組合施行の土地区画整理事業に対する技術指導、事業費助成	126,886千円

成 果
<p>事業の実施地区及び計画地区に対して技術指導を行うとともに、南平土地区画整理組合に55,000千円、四ツ谷前土地区画整理組合に60,000千円、落川土地区画整理組合に11,886千円の助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施地区 <ul style="list-style-type: none"> <li>南平土地区画整理</li> <li>四ツ谷前土地区画整理</li> <li>落川土地区画整理</li> <li>(平成5年3月12日事業認可の公告)</li> </ul> </li> <li>・計画地区 <ul style="list-style-type: none"> <li>東光寺上第1地区</li> <li>東光寺上第2地区</li> <li>日野駅北地区</li> <li>東豊田地区</li> <li>新町地区</li> <li>百草園駅北地区</li> <li>百草谷戸地区</li> <li>平山地区</li> <li>川辺堀之内地区</li> </ul> </li> </ul>

土地区画整理事業箇所

- 凡 例
- ①万願寺地区
  - ②高幡地区
  - ③豊田南地区
  - ④万願寺第二地区
  - ⑤西平山地区
  - ⑥東町地区
  - ⑦南平地区
  - ⑧四ツ谷前地区
  - ⑨落川地区
  - ⑩東光寺上第1地区
  - ⑪東光寺上第2地区
  - ⑫日野駅北地区
  - ⑬東豊田地区
  - ⑭新町地区
  - ⑮百草園駅北地区
  - ⑯百草谷戸地区
  - ⑰平山地区
  - ⑱川辺堀之内地区



## 下水道事業特別会計による事業

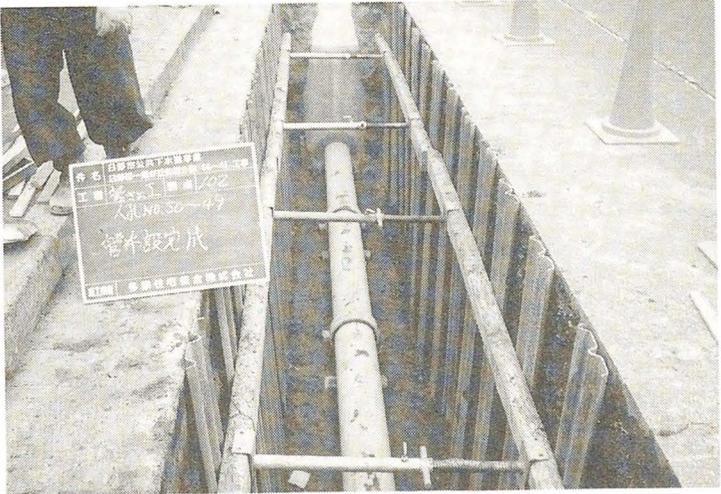
下水道事業特別会計

事業名	事業の概要	事業費
多摩平下水処理場清掃	多摩平下水処理場の廃止に伴う 清掃業務委託	39,389千円
公共下水道事業	<p>○管渠建設(汚水)</p> <p>〔南多摩処理区〕</p> <p>◦公共汚水柵設置 12カ所</p> <p>〔浅川処理区〕</p> <p>◦管渠埋設</p> <p>◎250mm~1,000mm</p> <p>L = 12,579m</p> <p>整備面積 285.54ha</p> <p>◦東京都新都市建設公社委託 管渠埋設</p> <p>◎250mm~500mm</p> <p>L = 11,909m</p> <p>整備面積 39.88ha</p> <p>◦公共汚水柵設置 166カ所</p> <p>〔秋川処理区〕</p> <p>◦管渠埋設</p> <p>◎250mm~700mm</p> <p>L = 7,657m</p> <p>整備面積 28.00ha</p> <p>◦公共汚水柵設置 63カ所</p>	<p>5,528,548千円</p> <p>◦内訳</p> <p>汚水：南多摩処理区 8,063</p> <p>浅川処理区 4,284,304</p> <p>秋川処理区 1,026,693</p> <p>雨水：豊田排水区 188,234</p> <p>落川排水区 10,341</p> <p>未認可区域 10,913</p> <p>◦財源内訳</p> <p>国庫補助金 1,085,400</p> <p>都補助金 78,467</p> <p>地方債 2,725,200</p> <p>一般財源 1,639,481</p>

成	果
多摩平地域の下水は、昭和33年10月以来、多摩平下水処理場で処理してきたが、流域下水道の供用開始に伴い、平成5年2月3日流域関連公共下水道に切り替え、同年3月31日多摩平下水処理場を廃止した。	<p>多摩平地域の下水は、昭和33年10月以来、多摩平下水処理場で処理してきたが、流域下水道の供用開始に伴い、平成5年2月3日流域関連公共下水道に切り替え、同年3月31日多摩平下水処理場を廃止した。</p> <p>廃止に当たり、処理場周辺の環境対策として場内各施設の清掃を実施した。</p>
流域関連公共下水道として、昭和57年度から事業を実施。	<p>流域関連公共下水道として、昭和57年度から事業を実施。</p> <p>汚水事業については、市内を南多摩・浅川・秋川の3処理区に分け整備を進めている。</p> <p>南多摩処理区は、昭和57年度に事業着手して以来、当面の重点区域として整備を進め、ほぼ全域を供用開始している。</p> <p>浅川処理区は、昭和59年度の事業認可以来、浅川右岸を中心に整備を進めている。平成4年度は、主として平山・南平・高幡・程久保・三沢地域の面整備を行った。</p> <p>また、東京都新都市建設公社に委託して、浅川左岸の万願寺土地区画整理地内・豊田南土地区画整理地内及び浅川右岸の一部を整備した。</p> <p>秋川処理区は、昭和60年度に認可を受け計画的に整備を進めている。平成4年度は石川幹線の整備と旭が丘地域を中心に面整備を実施した。</p> <p>雨水事業については、本年度は豊田排水区、落川排水区と若干の未認可区域の整備を行った。</p> <p>なお、平成4年11月の流域下水道浅川・八王子両処理場の稼働にあわせて、南多摩処理区7.18ha 178人、浅川処理区326.82ha 22,722人、秋川処理区185.69ha 13,644人の供用開始をした。</p> <p>汚水の整備人口普及率は、平成4年度末で52%となった。</p>

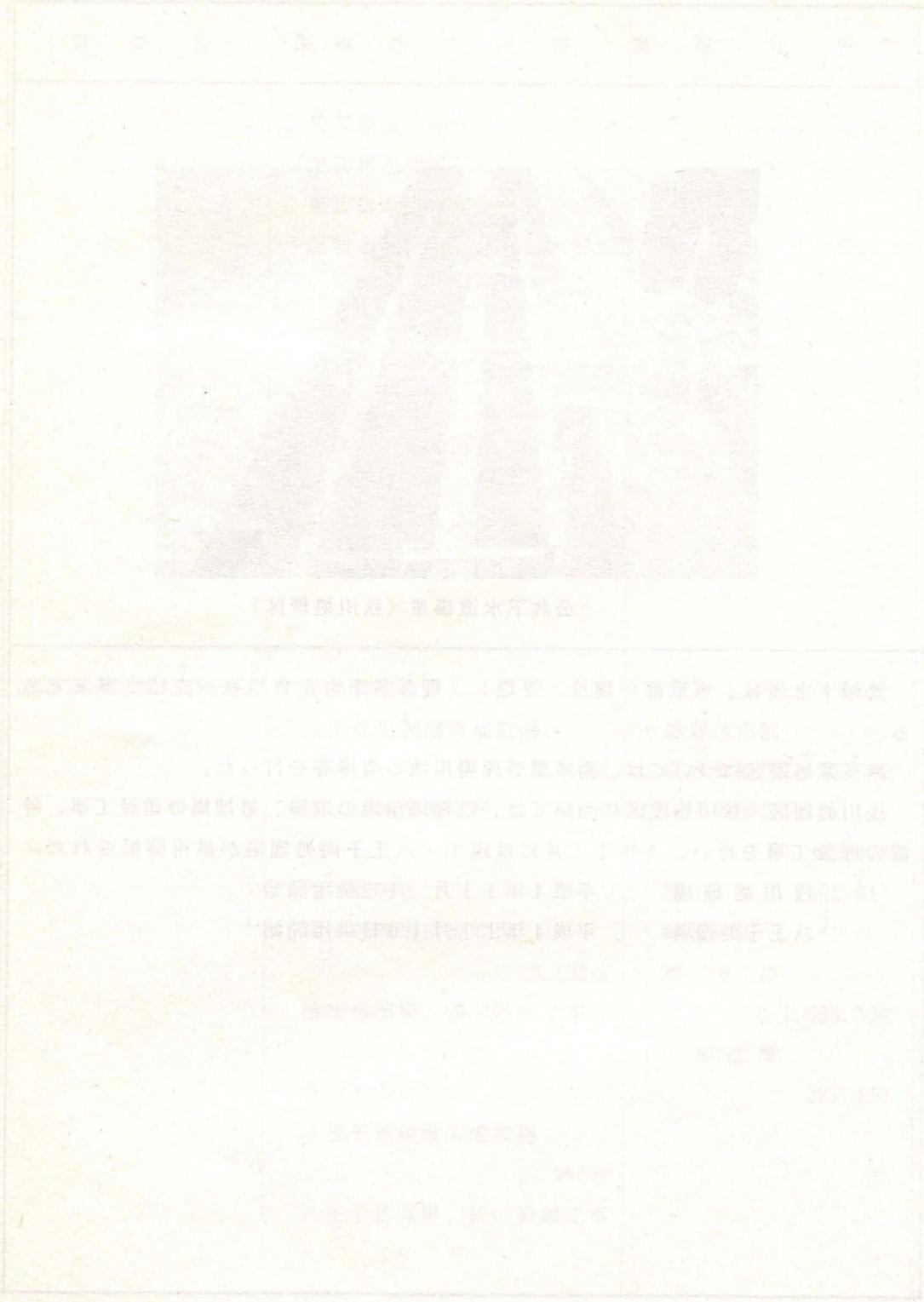
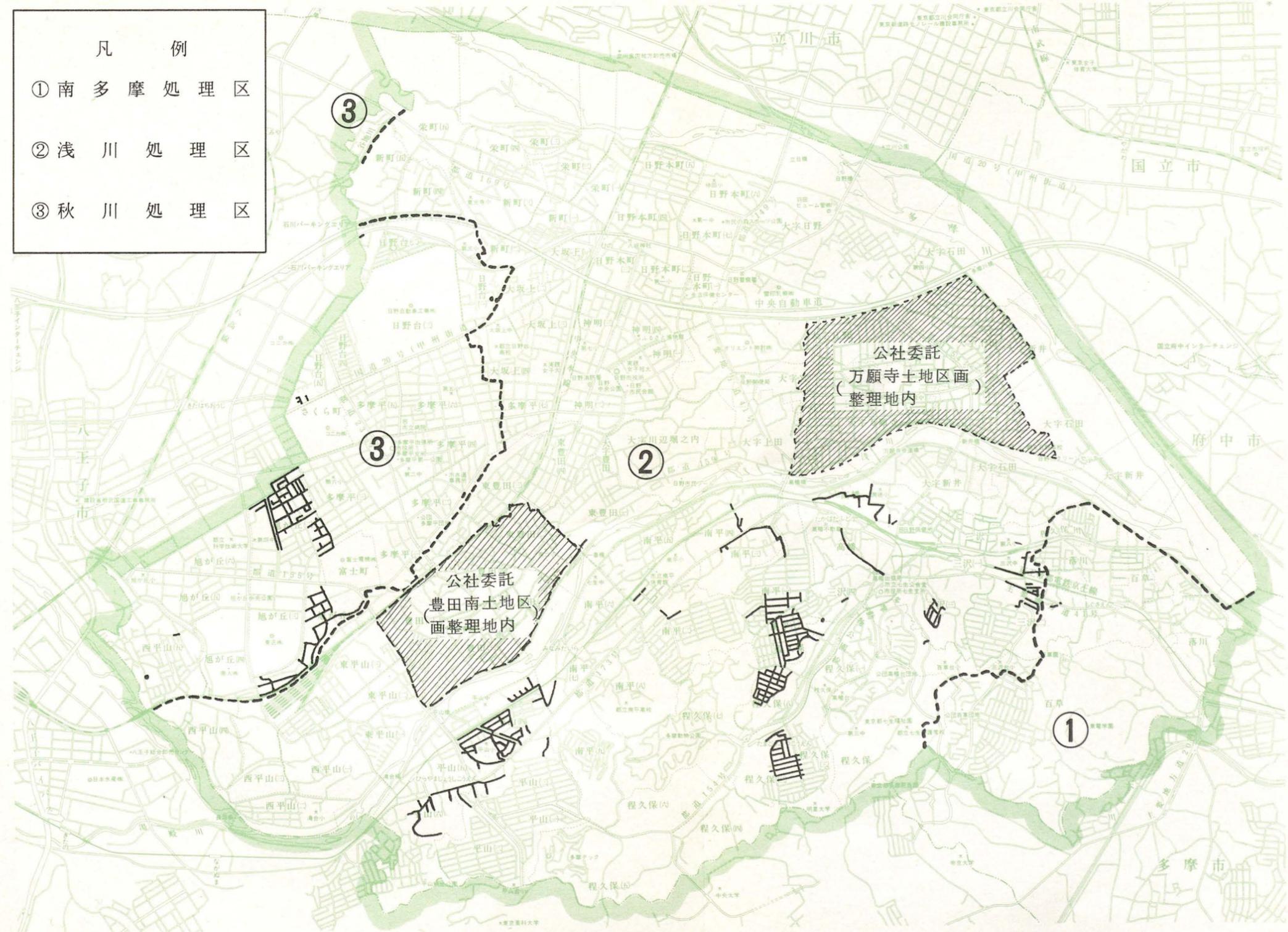
(下水道事業特別会計)

事業名	事業の概要	事業費
	○管渠建設（雨水） 〔豊田排水理区〕 ・豊田排水樋管設置 一式 ・仮排水路設置 L = 82m  〔落川排水区〕 ・導水管設置 一式  〔未認可地域の雨水〕 ・南平西排水樋管基本調査 ・栄町排水区舗装工事	
流域下水道建設負担金	〔南多摩処理区〕 南多摩処理場用地取得 5,497㎡ ポンプ場用地取得 315㎡  〔浅川処理区〕 浅川処理場用地取得 13,188㎡ 浅川処理場、浅川幹線工事  〔秋川処理区〕 八王子処理場用地取得 10,995㎡ 八王子処理場、秋川幹線工事	1,811,959千円 ・処理区内訳 南多摩処理区 13,902 浅川処理区 1,392,410 秋川処理区 405,647 ・財源内訳 地方債 1,584,500 一般財源 227,459

成 果						
 <p>公共下水道事業（秋川処理区）</p> <p>流域下水道は、東京都が建設・管理し、関係各市町が負担金を支払う事業である。            南多摩処理区については、南多摩処理場用地の取得等を行った。            浅川処理区・秋川処理区については、処理場用地の取得、処理場の建設工事、幹線の埋設工事を行い、4年11月には浅川・八王子両処理場が供用開始された。</p> <table border="0"> <tr> <td>浅川処理場</td> <td>平成4年11月</td> <td>1日供用開始</td> </tr> <tr> <td>八王子処理場</td> <td>平成4年11月</td> <td>16日供用開始</td> </tr> </table>	浅川処理場	平成4年11月	1日供用開始	八王子処理場	平成4年11月	16日供用開始
浅川処理場	平成4年11月	1日供用開始				
八王子処理場	平成4年11月	16日供用開始				

公共下水道事業箇所

- 凡 例
- ① 南多摩処理区
  - ② 浅川処理区
  - ③ 秋川処理区



市立総合病院事業会計による事業

市立総合病院事業会計

事業名	事業の概要	事業費
診療室増設工事	リハビリ室の移設	48,952千円
南側駐車場改修工事	駐車場の整備	11,124千円
自動電話交換機設備工事	院内電話交換機設備取替	7,351千円
分娩台購入	アトムDE-5000	2,390千円
超音波診断装置購入	アロカSSQ-2000	7,761千円
腹腔鏡胆のう摘出術機器購入	内視鏡 フジノン EL-WF2 EYEプロセッサ EPX302A 気腹装置 ノスゲート オムニフレ-7400 電気メス パリ-ラブ FORCE40 鉗子 ジャリット 600-128	10,815千円
リハビリ用機器購入	サカイ ODT-221	2,005千円

成 果
従前のリハビリ室は狭あいのため、厚生省の設置基準に合致していなかったが、今回の増設工事により、この条件を満たすことができた。
凸凹の多かった駐車場を舗装し、駐車区画線を引くことにより、整然と駐車できるようになり、駐車台数の増加が図られた。
既存の電話交換機を多機能な電話交換機に交換することにより、交換業務の能率が向上した。
新分娩台は補助台のフレーム部分がマット巾より狭くなっており、介助や処置がスムーズに行えるようになり、また、側面への折りたたみ式なので乗降が楽になった。
今回購入した超音波診断装置は汎用機であり、診断領域は多分野に渡っており、これにより科別をこえた病変を発見できるようになった。
本内視鏡の特徴は、軟性先端部が多彩なアングルで動くので腹腔内を自在に観察でき、胆のう摘出術のみならず腹腔内のあらゆる部位の疾患に対して応用が期待できる。 また、患部だけでなくその周囲まで容易に観察できるので、手術の確実性が高まった。
今回購入したリハビリ用の機器は、バイオフィードバックトレーニングに最適なメーターが付いており、屈曲・伸展の両方向に異なったスピード設定が可能で、トレーニングが容易に行えるようになった。

受託水道事業特別会計による事業

受託水道事業特別会計

事業名	事業の概要	事業費
導水管布設替	多摩平二丁目7、12番地先間導水管布設替ほか 2件 ラクタイトライニング鑄鉄管 φ75～350mm L = 659.8m	63,696千円
設備工事	旭が丘配水所ポンプ増強工事ほか8件 ポンプ増強、外壁改修	158,188千円
配水管新設等	三沢922番地先間ほか3件 ラクタイトライニング鑄鉄管 φ75～350mm L = 857.1m	53,924千円
区画整理地内水道施設整備	万願寺・高幡・豊田南・南平土地区画整理地内 ラクタイトライニング鑄鉄管 φ75～350mm L = 3,395.6 m	146,996千円
増径工事	多摩平二丁目10～四丁目11番地先間ほか3件 ラクタイトライニング鑄鉄管 φ100～350mm L = 1,087.8m	78,220千円

成 果
導水管整備により、震災対策及び安定した水の供給に努めた。
旭が丘配水所ポンプ増強及び施設の整備を行い、安定給水と環境整備に努めた。
配水管未布設地域に配水管を布設し、区域拡充に努めた。
土地区画整理地内の水道施設の整備を行った。
配水管の増径工事を行い、水需要増加に対し安定給水に努めた。

事業名	事業の概要	事業費
石綿管取替	程久保八丁目25、46番地先間ほか17件 ラタイルライニング鑄鉄管 φ75～200mm L = 7,598.0m	445,337千円
道路関連	新井93～下田303番地先間ほか4件 ラタイルライニング鑄鉄管 φ150～200mm L = 311.6m	31,235千円
下水道支障移設他	高幡328～629番地先間ほか19件 ラタイルライニング鑄鉄管 φ75～350mm L = 6,369.0m	387,160千円
消火栓関連	消火栓の新設及び移設 単口φ75mm 69基	26,491千円
給水栓取付替	φ20～50mm 1,392栓	145,787千円

成 果
本工事により漏水事故防止及び震災対策に努めた。
道路改修工事に伴い既設配水管の移設を行うとともに配水管整備に努めた。
下水道事業に伴い配水管の移設を行うとともに配水管整備に努めた。
消火栓の新設及び移設により消防水利の確保に努めた。
既設給水管をステンレス管に布設替することにより安定した給水ができた。



# 財政状況の資料

平成4年度 各会計別決算総括表

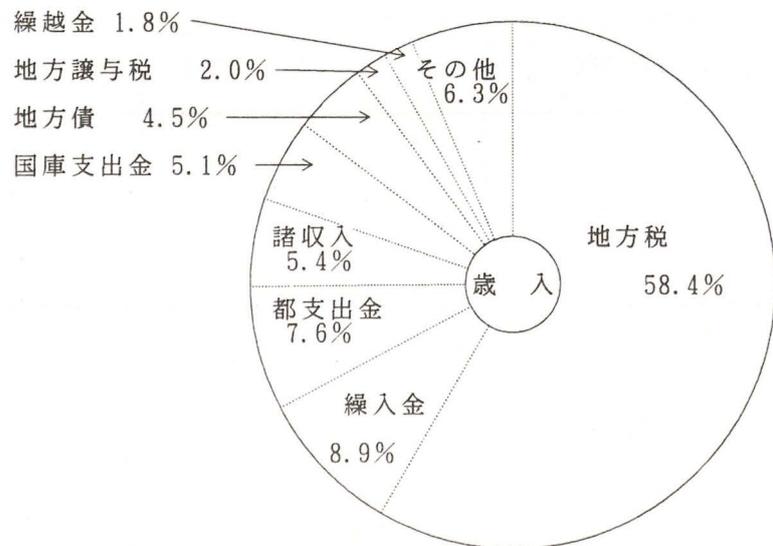
会 計 別	歳
	予 算 額
一 般 会 計	45,312,271,000
国民健康保険特別会計	4,958,285,000
土地区画整理事業特別会計	4,783,909,000
下水道事業特別会計	9,426,943,000
受託水道事業特別会計	2,403,272,000
市立総合病院事業会計	3,478,037,000
老人保健特別会計	5,655,545,000
老人入院共済事業特別会計	42,646,000
合 計	76,060,908,000

(単位：円)

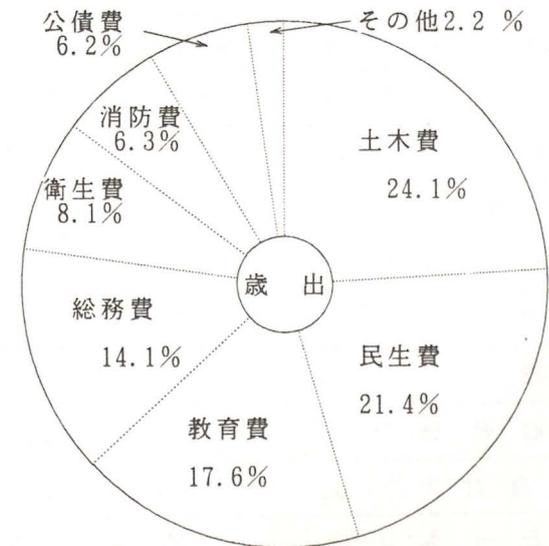
入	歳 出	
	予 算 額	決 算 額
決 算 額	予 算 額	決 算 額
45,539,352,094	45,312,271,000	44,860,103,845
5,076,067,788	4,958,285,000	4,729,320,159
3,882,135,740	4,783,909,000	3,833,801,585
9,434,219,651	9,426,943,000	9,202,418,943
2,373,513,270	2,403,272,000	2,373,513,270
3,308,894,740	3,664,280,000	3,474,192,764
5,421,827,888	5,655,545,000	5,385,831,509
42,657,885	42,646,000	42,244,119
75,078,669,056	76,247,151,000	73,901,426,194

平成4年度 決算額構成比（普通会計）

歳入	(区 分)	(決算額) 千円	(構成比) %
地方税		27,955,911	58.4
地方譲与税		964,021	2.0
利子割交付金		577,938	1.2
特別地方消費税交付金		2,575	0.0
自動車取得税交付金		544,422	1.1
地方交付税		31,421	0.1
交通安全対策特別交付金		32,740	0.1
分担金及び負担金		310,521	0.6
使用料		581,366	1.2
手数料		132,586	0.3
国庫支出金		2,436,210	5.1
都支出金		3,621,459	7.6
財産収入		622,526	1.3
寄附金		169,707	0.4
繰入金		4,238,302	8.9
繰越金		856,837	1.8
諸収入		2,598,245	5.4
地方債		2,160,200	4.5
合計		47,836,987	100.0



歳出	(区 分)	(決算額) 千円	(構成比) %
議会費		424,446	0.9
総務費		6,637,175	14.1
民生費		10,090,889	21.4
衛生費		3,825,584	8.1
労働費		209,054	0.4
農業費		149,299	0.3
商工費		260,037	0.6
土木費		11,363,833	24.1
消防費		2,966,964	6.3
教育費		8,276,506	17.6
災害復旧費		0	0.0
公債費		2,905,204	6.2
諸支出金		0	0.0
合計		47,108,991	100.0



収入の状況（普通会計）

(単位：千円)

区 分	平成 4			
	決算額 (A)	臨時的なもの (B)		差引経常的 なもの (A)-(B)
		特定財源	一般財源等	
1 地 方 税	27,955,911		1,641,539	26,314,372
2 地 方 譲 与 税	964,021			964,021
3 利 子 割 交 付 金	577,938			577,938
4 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金				
5 特 別 地 方 消 費 税 交 付 金	2,575			2,575
6 軽 油 ・ 自 動 車 取 得 税 交 付 金	544,422			544,422
7 地 方 交 付 税	31,421		31,421	
8 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	32,740			32,740
9 分 担 金 及 び 負 担 金	310,521			310,521
10 使 用 料	581,366		73,811	507,555
11 手 数 料	132,586		19,351	113,235
12 国 庫 支 出 金	2,436,210	598,026	105,000	1,733,184
13 国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金				
14 都 道 府 県 支 出 金	3,621,459	1,357,999	1,962	2,261,498
15 財 産 収 入	622,526	589,201	7,023	26,302
16 寄 附 金	169,707	169,707		
17 繰 入 金	4,238,302	3,157,992	1,080,310	
18 繰 越 金	856,837	59,541	797,296	
19 諸 収 入	2,598,245	1,339,291	826,723	432,231
内 訳	収 益 事 業 収 入	752,691	752,691	
	各 種 貸 付 金 元 利 収 入	244,489		244,489
	そ の 他	1,601,065	1,339,291	74,032
20 地 方 債	2,160,200	2,160,200		
うち 都 道 府 県 貸 付 金	81,000	81,000		
( 歳 入 合 計 )	47,836,987	9,431,957	4,584,436	33,820,594
歳 入 構 成 比 ( % )	100.0	19.7	9.6	70.7

年 度				平成 3 年 度			
左 の 内 訳		決算額 構成比 (%)	決算額 増減率 (%)	決 算 額	左のうち経常一般 財 源 等	決算額構成比 (%)	
特定財源	一般財源等						
	26,314,372	58.4	2.1	27,388,210	25,910,191	56.4	
	964,021	2.0	15.6	833,715	833,715	1.7	
	577,938	1.2	△56.3	1,323,171	1,323,171	2.7	
	2,575	0.0	168.0	961	961	0.0	
	544,422	1.1	△13.7	630,888	630,888	1.3	
		0.1	1.1	31,083		0.1	
	32,740	0.1	△12.5	37,403	37,403	0.1	
	310,521	0.6	△ 1.8	316,256		0.6	
	453,449	1.2	3.4	562,187	53,011	1.2	
	113,235	0.3	0.2	132,268		0.3	
	1,733,184	5.1	△ 5.4	2,575,412		5.3	
	2,261,498	7.6	0.2	3,614,391		7.4	
	19,971	6,331	1.3	△66.3	1,844,595	5,211	3.8
		0.4	77.5	95,615		0.2	
		8.9	21.2	3,496,431		7.2	
		1.8	△27.7	1,184,505		2.4	
	307,604	124,627	5.4	△34.2	3,946,236	312,713	8.1
		1.6	△27.5	1,038,736		2.1	
	234,264	10,225	0.5	15.2	212,267	4,464	0.4
	73,340	114,402	3.3	△40.6	2,695,233	308,249	5.6
		4.5	285.1	561,000		1.2	
		0.2	△64.3	227,000		0.5	
	5,199,462	28,621,132	100.0	△ 1.5	48,574,327	29,107,264	100.0
	10.9	59.8			100.0	59.9	

市 税 の 徴 収 実 績

( 単 位 : 千 円 )

区 分 税 目 別	調 定 済 額				◎のうち徴収 猶予に係る調 定 済 額
	現年課税分 ④	滞納繰越分 ⑤	合 計 ⑥	標準税率 超過調定額 ⑦	
一 普 通 税	26,470,400	777,442	27,247,842	227,553	
1 法 定 普 通 税	26,470,400	777,442	27,247,842	227,553	
(1) 市 町 村 民 税	17,261,236	601,747	17,862,983	227,553	
(ア) 個 人 均 等 割	127,626	4,935	132,561		
(イ) 所 得 割	14,988,606	579,572	15,568,178		
上記のうち退職所得分	159,628		159,628		
(ウ) 法 人 均 等 割	247,859	1,992	249,851		
(エ) 法 人 税 割	1,897,145	15,248	1,912,393	227,553	
(2) 固 定 資 産 税	8,446,247	167,235	8,613,482		
(ア) 純 固 定 資 産 税	8,377,469	167,235	8,544,704		
(a) 土 地	3,320,363	66,283	3,386,646		
(b) 家 屋	2,903,877	57,968	2,961,845		
(c) 償 却 資 産	2,153,229	42,984	2,196,213		
(イ) 交 付 金	68,778		68,778		
(3) 軽 自 動 車 税	63,009	5,378	68,387		
(4) 市 町 村 た ば こ 税	613,447		613,447		
(5) 鉱 産 税					
(6) 特 別 土 地 保 有 税	86,461	3,082	89,543		
(ア) 保 有 分	82,296	3,082	85,378		
(イ) 取 得 分	4,165		4,165		
2 法 定 外 普 通 税					
二 目 的 税	1,646,222	34,556	1,680,778		
1 入 湯 税					
2 事 業 所 税					
3 都 市 計 画 税	1,646,222	34,556	1,680,778		
(1) 土 地	1,098,235	23,053	1,121,288		
(2) 家 屋	547,987	11,503	559,490		
4 水 利 地 益 税					
5 共 同 施 設 税					
6 宅 地 開 発 税					
三 旧 法 に よ る 税					
合 計 (一~三)	28,116,622	811,998	28,928,620	227,553	
国民健康保険税	1,780,695	259,155	2,039,850		
国民健康保険料					

収 入 済 額				徴 収 率 (%)				収入済額◎ の対前年度 増減率 (%)
現年課税分 ④	滞納繰越分 ⑤	合 計 ⑥	標準税率超 過収入済額 ⑦	④ × 100	⑤ × 100	⑥ × 100	前年度に おける徴 収率 ④ ◎ × 100	
26,081,440	232,932	26,314,372	227,325	98.5	30.0	96.6	96.9	1.6
26,081,440	232,932	26,314,372	227,325	98.5	30.0	96.6	96.9	1.6
16,974,019	157,096	17,131,115	227,325	98.3	26.1	95.9	96.4	△ 2.0
125,226	1,293	126,519		98.1	26.2	95.4	95.7	2.0
14,706,640	151,895	14,858,535		98.1	26.2	95.4	95.7	4.2
159,628		159,628		100.0		100.0	100.0	8.0
247,529	451	247,980		99.9	22.6	99.3	99.4	3.3
1,894,624	3,457	1,898,081	227,325	99.9	22.7	99.3	99.4	△ 33.6
8,347,753	71,013	8,418,766		98.8	42.5	97.7	97.8	10.8
8,278,975	71,013	8,349,988		98.8	42.5	97.7	97.7	10.8
3,281,325	28,146	3,309,471		98.8	42.5	97.7	97.7	13.6
2,869,736	24,615	2,894,351		98.8	42.5	97.7	97.7	6.9
2,127,914	18,252	2,146,166		98.8	42.5	97.7	97.7	12.3
68,778		68,778		100.0		100.0	100.0	4.3
60,328	1,741	62,069		95.7	32.4	90.8	91.7	1.4
613,447		613,447		100.0		100.0	100.0	△ 9.5
85,893	3,082	88,975		99.3	100.0	99.4	96.5	4.9
81,728	3,082	84,810		99.3	100.0	99.3	100.0	314.7
4,165		4,165		100.0		100.0	95.4	△ 93.5
1,626,866	14,673	1,641,539		98.8	42.5	97.7	97.6	11.1
1,626,866	14,673	1,641,539		98.8	42.5	97.7	97.6	11.1
1,085,322	9,789	1,095,111		98.8	42.5	97.7	97.6	13.4
541,544	4,884	546,428		98.8	42.5	97.7	97.6	6.6
27,708,306	247,605	27,955,911	227,325	98.5	30.5	96.6	96.9	2.1
1,687,626	54,496	1,742,122		94.8	21.0	85.4	86.0	5.3

支出の状況（普通会計）

区 分	平成 4			
	決算額 (A)	左のうち臨時的なもの(B)		差引経常的 なもの (A)-(B)
		特定財源	一般財源等	
1 人件費 (a)	10,681,124	16,566	4,697	10,659,861
2 物件費	7,824,056	69,873	1,213,568	6,540,615
3 維持補修費	564,687		68,610	496,077
4 扶助費	4,215,979			4,215,979
5 補助費等	5,239,425	46,312	2,191,870	3,001,243
内訳 (1) 一部事務組合に対するもの	201,665		50,655	151,010
内訳 (2) (1) 以外のもの	5,037,760	46,312	2,141,215	2,850,233
6 公債費	2,905,204		24,220	2,880,984
内訳 (1) 元利償還金	2,905,204		24,220	2,880,984
内訳 (2) 一時借入金利子				
7 積立金	1,788,517	744,283	1,044,234	
8 投資及び出資金・貸付金	261,081		15,688	245,393
9 繰出金	4,291,793	2,631,438	1,214,269	446,086
10 前年度繰り上げ充用金				
計 (1~10)	37,771,866	3,508,472	5,777,156	28,486,238
11 投資的経費	9,337,125	5,399,906	3,937,219	
うち人件費 (b)	177,396	54,102	123,294	
(1) 普通建設事業費	9,330,400	5,399,906	3,930,494	
うち単独事業費	8,260,399	4,554,656	3,705,743	
(2) 災害復旧事業費				
(3) 失業対策事業費	6,725		6,725	
歳出合計	47,108,991	8,908,378	9,714,375	28,486,238
うち人件費 (a) + (b)	10,858,520	70,668	127,991	10,659,861
歳出構成比 (%)	100.0	18.9	20.6	60.5

(単位：千円)

年 度					平成 3 年 度			
左の内訳		決算額 構成比 (%)	決算額 増減率 (%)	経常収 支比率 (%)	決算額	左のうち経常 一般財源等	決算額 構成比 (%)	経常収 支比率 (%)
特定財源	一般財源等							
1,015,089	9,644,772	22.7	4.5	33.7	10,223,758	9,177,850	21.4	31.5
1,279,536	5,261,079	16.6	9.2	18.4	7,167,033	4,982,011	15.0	17.1
17,130	478,947	1.2	5.2	1.7	536,674	520,695	1.1	1.8
2,638,360	1,577,619	8.9	7.4	5.5	3,925,095	1,446,176	8.2	5.0
416,471	2,584,772	11.1	15.1	9.0	4,551,458	2,479,050	9.6	8.5
	151,010	0.4	△ 0.2	0.5	201,991	201,991	0.5	0.7
416,471	2,433,762	10.7	15.8	8.5	4,349,467	2,277,059	9.1	7.8
98,566	2,782,418	6.2	0.8	9.7	2,881,610	2,744,798	6.1	9.4
98,566	2,782,418	6.2	0.8	9.7	2,881,610	2,744,798	6.1	9.4
		3.8	△17.6		2,169,568		4.6	
234,264	11,129	0.6	24.9	0.0	347,828	26,254	0.7	0.1
23,625	422,461	9.1	21.0	1.5	3,545,531	345,349	7.4	1.2
5,723,041	22,763,197	80.2	6.9	79.5	35,348,555	21,722,183	74.1	74.6
		19.8	△24.5	(13.8)	12,368,935		25.9	(20.0)
		0.4	△21.3	(0.4)	225,393		0.5	(0.7)
		19.8	△24.5	(13.7)	12,362,048		25.9	(20.0)
		17.5	△24.8	(12.9)	10,979,450		22.6	(18.8)
				( )				( )
		0.0	△ 2.4	(0.0)	6,887		0.0	(0.0)
5,723,041	22,763,197	100.0	△ 1.3		47,717,490	21,722,183	100.0	
1,015,089	9,644,772	23.0	3.7		10,449,151	9,177,850	21.9	
12.2	48.3				100.0	45.5		

普通建設事業の状況（普通会計）

区 分	決 算 額	財
		国 庫 支 出 金
総 務 費	531,697	990
民 生 費	352,536	30,280
衛 生 費	169,496	
農 業 費	25,604	
商 工 費	27,714	
土 木 費	4,252,521	501,872
消 防 費	1,325,039	
教 育 費	2,645,793	46,481
合 計	9,330,400	579,623

（単位：千円）

源 内 訳			
都 支 出 金	地 方 債	その他の特定財源	一 般 財 源 等
	300,000		230,707
47,577	84,500		190,179
			169,496
12,070			13,534
		16,620	11,094
583,986	81,000	1,376,424	1,709,239
68,625	945,700	100,000	210,714
54,781	749,000	400,000	1,395,531
767,039	2,160,200	1,893,044	3,930,494

地方債現在高の状況

区分	平成3年度	平成4年度	平成4年度	平成	
	末現在高 A	発行額 B	財源対策債 発行額		元金 C
一般会計	1. 一般公共事業	31,599		1,711	
	2. 一般単独事業	6,691,584	1,145,700	467,971	
	3. 公営住宅建設事業	1,232,942		29,129	
	4. 義務教育施設整備事業	7,214,247		376,627	
	5. 公共用地先行取得等事業		100,000		
	6. 一般廃棄物処理事業	3,444,655		375,682	
	7. 厚生福祉施設整備事業	2,118,515	833,500	83,702	
	8. 財源対策債	513,624		49,530	
	9. 都道府県貸付金	1,267,917	81,000	43,124	
	10. 減収補てん債(昭和50年度分)				
	11. その他				
小計	22,515,083	2,160,200		1,427,476	
下水道事業特別会計	1. 一般公共事業	189,492		5,258	
	2. 一般単独事業	598,853		61,372	
	3. 財源対策債	30,744		3,031	
	4. 下水道事業	15,662,768	4,309,700		336,078
	小計	16,481,857	4,309,700		405,739
市立総合病院事業会計	312,162			9,371	
土地区画整理事業特別会計	103,950				
合計	39,413,052	6,469,900		1,842,586	

(単価:千円)

4年度元利償還額		Dの財源内訳		差引現在高 A+B-C E	平成4年度 末財源対策 債現在高	Eの借入先別内訳	
利子	計 D	特定財源	税等			政府資金	その他
1,807	3,518		3,518	29,888	928	29,888	
371,323	839,294		839,294	7,369,313	196,776	5,342,366	2,026,947
69,437	98,566	98,566		1,203,813		1,074,496	129,317
481,933	858,560		858,560	6,837,620	138,764	6,837,620	
				100,000			100,000
199,554	575,236		575,236	3,068,973	75,647	3,068,973	
132,880	216,582		216,582	2,868,313	51,979	2,568,313	300,000
34,199	83,729		83,729	464,094		464,094	
62,153	105,277		105,277	1,305,793			1,305,793
1,353,286	2,780,762	98,566	2,682,196	23,247,807	464,094	19,385,750	3,862,057
11,068	16,326		16,326	184,234	27,713	184,234	
41,565	102,937		102,937	537,481		49,641	487,840
2,147	5,178		5,178	27,713		27,713	
847,617	1,183,695		1,183,695	19,636,390		13,048,763	6,587,627
902,397	1,308,136		1,308,136	20,385,818	27,713	13,310,351	7,075,467
23,040	32,411		32,411	302,791		302,791	
				103,950			103,950 (特定資金)
2,278,723	4,121,309	98,566	4,022,743	44,040,366	491,807	32,998,892	11,041,474

地方債借入先別及び利率別現在高の状況

(単位：千円)

借入先		利率	平成3年度 現在高	平成4年度 発行額	平成4年度 償還元金額	差引現在高 A + B - C
			A	B	C	D
1. 政府資金			30,299,668	3,962,800	1,263,578	32,998,890
内訳	(1) 資金運用部		20,477,426	1,849,300	731,781	21,594,945
	内(1)以外のもの		14,440,034	1,849,300	272,789	16,016,545
		(1)年金資金によるもの		6,037,392		458,992
	(2) 簡易保険局		9,822,242	2,113,500	531,797	11,403,945
2. 公営企業金融公庫			6,820,306	1,202,600	222,280	7,800,626
3. 市中銀行			32,940	1,000,000	32,940	1,000,000
4. 保険会社						
5. 共済組合等			148,380	65,500	49,740	164,140
6. その他			2,007,808	239,000	274,048	1,972,760
小計 E			39,309,102	6,469,900	1,842,586	43,936,416
Eの内訳	証書借入分		39,309,102	6,469,900	1,842,586	43,936,416
	証券発行分					
	うち登録債					
7. 特定資金 (NTT)			103,950			103,950
合計			39,413,052	6,469,900	1,842,586	44,040,366

D の利率別内訳							
5.0 % 以下	5.5 % 以下	6.0 % 以下	6.5 % 以下	7.0 % 以下	7.5 % 以下	8.0 % 以下	8.5 % 以下
12,441,461	3,127,600		7,404,784	2,903,755	7,121,290		
6,955,563	3,127,600		3,763,053	2,317,500	5,431,229		
5,471,130	3,127,600		1,495,924	2,317,500	3,604,391		
1,484,433			2,267,129		1,826,838		
5,485,898			3,641,731	586,255	1,690,061		
3,010,421		843,600	1,049,285	758,500	1,838,686	300,134	
1,000,000							
164,140							
1,256,099	77,000		77,110	77,000	485,551		
17,872,121	3,204,600	843,600	8,531,179	3,739,255	9,445,527	300,134	
17,872,121	3,204,600	843,600	8,531,179	3,739,255	9,445,527	300,134	
103,950							
17,976,071	3,204,600	843,600	8,531,179	3,739,255	9,445,527	300,134	

平成4年度 一般会計各款・節別決算額一覧表

節	款	1	2	3
		議会費	総務費	民生費
1.	報酬	174,120,000	49,269,418	77,720,833
2.	給料	44,258,162	1,008,144,356	1,250,050,062
3.	職員手当等	131,229,280	1,528,255,213	1,013,279,604
4.	共済費	23,462,930	562,152,593	198,173,464
5.	災害補償費			
7.	賃金		28,425,634	145,537,490
8.	報償費	150,000	43,556,641	86,232,933
9.	旅費	14,871,265	13,501,309	7,205,110
10.	交際費	2,497,309	3,492,784	
11.	需用費	14,803,656	299,195,256	297,103,123
12.	役務費	70,560	76,644,235	32,901,050
13.	委託料	10,212,359	712,574,385	1,219,455,692
14.	使用料及び賃借料	242,380	145,145,064	93,584,104
15.	工事請負費		483,379,000	104,946,700
16.	原材料費		267,388	110,570
17.	公有財産購入費			1,403,640
18.	備品購入費	94,811	58,655,149	44,271,742
19.	負担金、補助及び交付金	8,433,000	215,756,460	572,827,148
20.	扶助費			4,072,561,334
21.	貸付金		1,000,000	15,860,000
22.	補償、補填及び賠償金		668,598	
23.	償還金、利子及び割引料		134,834,144	342,150
24.	投資及び出資金		6,316,000	
25.	積立金		1,788,516,556	
26.	寄附金			
27.	公課費		1,780,300	
28.	繰出金		31,438,396	1,038,531,712
	予備費			
	合計	424,445,712	7,192,968,879	10,272,098,461

(単位：円)

4	5	6	7	8
衛生費	労働費	農業費	商工費	土木費
266,000		11,028,000		2,884,500
289,997,989	12,617,524	37,481,284	14,314,062	355,506,149
276,739,739	11,275,495	34,735,823	12,685,256	317,691,847
46,808,884	1,976,402	5,735,850	2,202,977	55,387,224
38,439,301		482,433	156,960	4,151,328
23,970,142	300,000	1,938,425	143,252	3,501,069
740,716	384,504	1,392,092		3,206,249
		135,916	3,159,285	
469,682,208	2,610,188	2,245,150	207,610	190,893,527
176,832,475	159,373	113,559		18,832,612
1,356,207,883	12,848,137	279,387	84,050	748,132,070
1,616,244	81,575	768,240		23,250,095
49,254,600				948,451,900
367,988				12,110,514
26,089,097	83,430		2,126,826	7,753,985
1,005,080,455	16,700,230	52,962,965	85,375,958	175,780,462
	1,752,100			
	53,000,000		125,000,000	
				13,831,678
9,372,000				
2,266,500				9,000
				4,829,262,000
3,773,732,221	113,788,958	149,299,124	245,456,236	7,710,636,209

節	款	9	10	11
		消 防 費	教 育 費	公 債 費
1.	報 酬	29,643,100	153,072,221	
2.	給 料		1,437,650,492	
3.	職 員 手 当 等		1,138,024,478	
4.	共 濟 費		225,828,952	
5.	災 害 補 償 費			
7.	賃 金		62,033,198	
8.	報 償 費	11,097,090	59,659,479	
9.	旅 費	1,185,787	8,118,325	
10.	交 際 費	120,000	3,010,474	
11.	需 用 費	25,430,980	909,735,987	
12.	役 務 費	2,308,952	40,163,101	
13.	委 託 料	1,547,283,283	523,428,276	
14.	使用料及び賃借料	1,652,628	122,105,565	
15.	工 事 請 負 費	1,095,484,070	2,419,883,450	
16.	原 材 料 費	1,138,427	2,221,278	
17.	公 有 財 産 購 入 費	125,159,495	3,608,420	
18.	備 品 購 入 費	33,380,116	460,738,215	
19.	負担金、補助及び交付金	65,969,739	384,936,440	
20.	扶 助 費		80,317,158	
21.	貸 付 金		533,300	
22.	補償、補填及び賠償金		1,791,380	
23.	償還金、利子及び割引料		113,450	2,780,762,096
24.	投 資 及 び 出 資 金			
25.	積 立 金			
26.	寄 附 金			
27.	公 課 費	630,000		
28.	繰 出 金			
	予 備 費			
	合 計	2,940,483,667	8,036,973,639	2,780,762,096

(単位：円)

12	13	合 計	
諸 支 出 金	予 備 費	予 算 額	決 算 額
		503,431,000	498,004,072
		4,459,324,000	4,450,020,080
		4,488,716,000	4,463,916,735
		1,125,083,000	1,121,729,276
		2,000	0
		296,179,000	279,226,344
		239,961,000	230,549,031
		55,941,000	50,605,357
		10,095,000	12,415,768
		2,305,632,000	2,211,907,685
		369,096,000	348,025,917
		6,239,122,000	6,130,505,522
		393,090,000	388,445,895
		5,138,779,000	5,101,399,720
		18,121,000	16,216,165
		130,174,000	130,171,555
		644,067,000	633,193,371
1,169,458,643		3,781,290,000	3,753,281,500
		4,178,646,000	4,154,630,592
50,000,000		260,319,000	245,393,300
		20,695,000	16,291,656
		2,920,722,000	2,916,051,840
		18,628,000	15,688,000
		1,788,534,000	1,788,516,556
		4,689,000	4,685,800
		5,899,233,000	5,899,232,108
		22,702,000	
1,219,458,643		45,312,271,000	44,860,103,845

一般会計給与費明細書

予 算 科 目		職員数 (人)		給 与	
款	項	特別職	一般職	報 酬	給 料
1. 議 会 費		30	11	174,120,000	44,258,162
	1. 議 会 費	30	11	174,120,000	44,258,162
2. 総 務 費		325	252	49,269,418	1,008,144,356
	1. 総 務 管 理 費	66	156	38,312,528	665,292,092
	2. 徴 税 費	7	63	123,500	217,291,538
	3. 戸籍住民基本台帳費		22		78,091,539
	4. 選 挙 費	141	5	6,086,500	21,381,806
	5. 統 計 調 査 費	109	3	2,586,890	10,699,080
	6. 監 査 委 員 費	2	3	2,160,000	15,388,301
3. 民 生 費		321	348	77,720,833	1,250,050,062
	1. 社 会 福 祉 費	223	73	22,774,415	276,229,116
	2. 児 童 福 祉 費	96	267	52,508,418	942,403,298
	3. 生 活 保 護 費	2	8	2,438,000	31,417,648
4. 衛 生 費		17	86	266,000	289,997,989
	1. 保 健 衛 生 費	17	27	266,000	91,047,003
	2. 清 掃 費		59		198,950,986
5. 労 働 費			3		12,617,524
	1. 労 働 諸 費		3		12,617,524
6. 農 業 費		20	9	11,028,000	37,481,284
	1. 農 業 費	20	9	11,028,000	37,481,284
7. 商 工 費			3		14,314,062
	1. 商 工 費		3		14,314,062

(単位：円)

費		共 済 費	合 計
職員手当等	計		
131,229,280	349,607,442	23,462,930	373,070,372
131,229,280	349,607,442	23,462,930	373,070,372
1,527,518,805	2,584,932,579	562,152,593	3,147,085,172
1,215,593,171	1,919,197,791	509,029,785	2,428,227,576
188,252,190	405,667,228	33,808,351	439,475,579
65,764,455	143,855,994	12,036,021	155,892,015
34,373,055	61,841,361	3,278,919	65,120,280
9,057,761	22,343,731	1,664,526	24,008,257
14,478,173	32,026,474	2,334,991	34,361,465
1,013,279,604	2,341,050,499	198,173,464	2,539,223,963
242,844,068	541,847,599	42,952,451	584,800,050
739,398,150	1,734,309,866	150,292,603	1,884,602,469
31,037,386	64,893,034	4,928,410	69,821,444
276,739,739	567,003,728	46,808,884	613,812,612
77,405,269	168,718,272	14,500,637	183,218,909
199,334,470	398,285,456	32,308,247	430,593,703
11,275,495	23,893,019	1,976,402	25,869,421
11,275,495	23,893,019	1,976,402	25,869,421
34,735,823	83,245,107	5,735,850	88,980,957
34,735,823	83,245,107	5,735,850	88,980,957
12,685,256	26,999,318	2,202,977	29,202,295
12,685,256	26,999,318	2,202,977	29,202,295

(単位：円)

予 算 科 目		職員数 (人)		給 与	
款	項	特別職	一般職	報 酬	給 料
8. 土木費		73	92	2,884,500	355,506,149
	1. 土木管理費		29		113,529,182
	2. 道路橋りょう費	23	24	199,500	82,772,859
	3. 河川費		10		40,565,772
	4. 都市計画費	42	29	2,609,000	118,638,336
	5. 住宅費	8		76,000	
9. 消防費		519		29,643,100	
	1. 消防費	519		29,643,100	
10. 教育費		434	385	153,072,221	1,437,650,492
	1. 教育総務費	13	30	17,879,801	120,407,727
	2. 小学校費	121	157	63,833,040	617,063,929
	3. 中学校費	48	86	25,288,800	315,149,594
	4. 幼稚園費	14	34	5,208,000	98,915,228
	5. 社会教育費	214	71	38,240,580	259,186,546
	6. 体育費	24	7	2,622,000	26,927,468
合 計		1,739	1,189	498,004,072	4,450,020,080
職員手当等の内訳				扶 養 手 当	128,549,005
				調 整 手 当	473,123,562
				管 理 職 手 当	201,009,768
				特 殊 勤 務 手 当	23,223,208
				児 童 手 当	3,810,000
				期 末 勤 勉 手 当	2,524,508,475

注 1. 職員数は平成4年3月31日現在の人数による。  
2. 特別職は報酬支給対象委員のみとした。

費		共 済 費	合 計
職員手当等	計		
317,691,847	676,082,496	55,387,224	731,469,720
101,225,404	214,754,586	17,671,143	232,425,729
70,547,055	153,519,414	12,942,389	166,461,803
38,063,073	78,628,845	6,279,091	84,907,936
107,856,315	229,103,651	18,494,601	247,598,252
	76,000		76,000
	29,643,100		29,643,100
	29,643,100		29,643,100
1,138,024,478	2,728,747,191	225,828,952	2,954,576,143
107,102,266	245,389,794	18,349,174	263,738,968
458,786,404	1,139,683,373	97,305,985	1,236,989,358
237,959,914	578,398,308	49,389,263	627,787,571
81,464,934	185,588,162	16,014,901	201,603,063
226,089,905	523,517,031	40,635,078	564,152,109
26,621,055	56,170,523	4,134,551	60,305,074
4,463,180,327	9,411,204,479	1,121,729,276	10,532,933,755
通 勤 手 当	126,658,890		
時 間 外 勤 務 手 当	160,734,783		
住 居 手 当	210,668,964		
退 職 手 当	607,498,930		
そ の 他	3,394,742		

# 基金の運用状況

。基金運用状況

地方自治法第241条第5項の規定に基づき、平成4年度における基金の運用状況について報告します。

平成5年9月

日野市長 森 田 喜美男

基 金 の 種 類

- (1) 用品調達基金
- (2) 国民年金印紙調達基金
- (3) 国民健康保険高額療養費貸付基金
- (4) 老人入院看護料貸付基金
- (5) 土地開発基金

平成4年度 用品調達基金運用状況報告書

(1) 平成4年度 用品調達基金運用状況

収入額 20,779,039円

執行額 20,779,039円

未収金 0円

支出額 21,622,921円

執行額 21,622,921円

未払金 0円

翌年度繰越額

現金 3,717,835円

在庫 2,282,165円

未収金 0円

未払金 0円

(現金 + 在庫 + 未収金) - 未払金 = 6,000,000円

回転数 支出額 ÷ 6,000,000円 = 3.6

用品調達基金利子 4,752円

(一般会計へ)

(2) 平成4年度末における基金の状況

(単位：円)

収入	執行額	20,779,039
	未収金	0
	合計	20,779,039
支出	執行額	21,622,921
	未払金	0
	合計	21,622,921
棚卸による増減	利益・損失	6,378
	過不足額	2,960
	差引額	9,338
在庫		2,282,165
現金		3,717,835

(3) 利益及び損失

〔利益〕

運用収益 49,378円 — ①

〔損失〕

(印刷)

罫紙 (B5) 28円 × 1,000冊 = 28,000円

封筒 (マチ付) 5円 × 3,000枚 = 15,000円

43,000円 — ②

差 引 ① - ② = 6,378円

(4) 用品過不足調書

(△は不足分)

No.	品名	規格	単位	数量	単価	金額	備考
1	筆	大	本	1	円 772	円 772	
2	指ゴム		袋	1	226	226	
3	ハサミ	大	丁	△ 1	844	△ 844	
4	ハサミ	小	丁	2	226	452	
5	仏儀袋		束	1	103	103	
6	タワシ	中	個	△ 2	77	△ 154	
7	タワシ	小	個	4	44	176	
8	ゴム手袋	給食用(M)	双	6	187	1,122	
9	ゴム手袋	給食用(L)	双	4	187	748	
10	フィルム	カラー	本	2	357	714	
11	賞状用紙	B4	枚	△ 6	21	△ 126	
12	賞状用紙	A3	枚	△ 9	21	△ 189	
13	封筒	マチ付	枚	△ 1	40	△ 40	

※ いずれも台帳登記数と在庫との比較増減

4,313円 - △ 1,353円 = △ 2,960円 (△は不足額)

平成4年度 国民年金印紙調達基金運用状況報告書

1. 総括表

(単位：円)

種別	金額	内訳
基金の額	50,000,000	
3年度印紙繰越額	11,773,620	2. 参照
印紙購入執行状況	1,620,000,000	3. 参照
印紙売捌執行状況	1,598,236,340	3. 参照
印紙残額	33,537,280	(前年度印紙繰越額+印紙購入執行状況 - 印紙売捌執行状況) (11,773,620+1,620,000,000 - 1,598,236,340)
預金残額	16,462,720	

2. 平成3年度基金繰越額

(単位：円)

基金の額	印紙	現金
50,000,000	11,773,620	38,226,380

3. 執行状況(月別)

(単位：円)

月	印紙購入状況	印紙売捌状況
4	380,000,000	337,826,930
5	200,000,000	158,727,010
6	100,000,000	74,679,900
7	80,000,000	128,483,500
8	80,000,000	91,084,990
9	160,000,000	91,668,310
10	80,000,000	133,776,500
11	80,000,000	91,065,100
12	160,000,000	128,290,100
1	80,000,000	116,400,600
2	160,000,000	106,900,600
3	60,000,000	139,332,800
合計	1,620,000,000	1,598,236,340

4. 平成4年度基金残(平成5年度繰越)

(単位：円)

基金の額	印紙	現金
50,000,000	33,537,280	16,462,720

印紙残内訳

(単位：円)

印紙の種類	印紙枚数	金額
10円印紙	138枚	1,380
100円印紙	89枚	8,900
1,000円印紙	97枚	97,000
10,000円印紙	73枚	730,000
100,000円印紙	42枚	4,200,000
500,000円印紙	45枚	22,500,000
2,000,000円印紙	3枚	6,000,000
合計	487枚	33,537,280

5. 回転率

$$\text{回転} = \text{印紙購入執行状況} \div \text{基金額}$$

$$32.4 \text{回} = 1,620,000,000 \text{円} \div 50,000,000 \text{円}$$

平成4年度 国民健康保険高額療養費貸付基金  
運用状況報告書

(1) 総括

基金の額 10,000,000円

(単位：円)

区分 年度	年度当初 貸付残額	貸付総額	償還総額	年度末 貸付残額	年度末現金
3	675,841	13,317,867	11,170,857	2,822,851	7,177,149
4	2,822,851	16,432,660	16,853,239	2,402,272	7,597,728

(2) 月別執行状況

(単位：円)

基金の額	10,000,000	前年度貸付残額	2,822,851
------	------------	---------	-----------

(単位：円)

区分 月	当月貸付額	当月償還額	当 月 末 貸 付 残 額	当月末現金	貸付件数	償還件数
4	955,497	913,947	2,864,401	7,135,599	6件	2
5	1,683,201	2,114,601	2,433,001	7,566,999	4	7
6	635,103	1,695,897	1,372,207	8,627,793	4	6
7	3,512,994	1,464,420	3,420,781	6,579,219	9	9
8	1,412,262	1,857,816	2,975,227	7,024,773	6	1
9	2,121,183	0	5,096,410	4,903,590	12	0
10	1,335,094	0	6,431,504	3,568,496	8	0
11	348,294	3,169,251	3,610,547	6,389,453	4	20
12	593,673	1,594,381	2,609,839	7,390,161	5	13
1	2,470,641	34,320	5,046,160	4,953,840	9	1
2	985,755	943,434	5,088,481	4,911,519	6	11
3	378,963	3,065,172	2,402,272	7,597,728	5	14
合計	16,432,660	16,853,239			78	84

平成4年度 老人入院看護料貸付基金運用状況報告書

(1) 総括

基金の額 10,000,000円

(単位：円)

区分 年度	年度当初 貸付残高	貸付総額	償還総額	年 度 末 貸 付 残 額	年度末現金
3	0	3,188,000	2,788,000	400,000	9,600,000
4	400,000	7,899,000	7,755,000	544,000	9,456,000

(2) 月別執行状況

(単位：円)

基金の額	10,000,000	前年度貸付残額	400,000
------	------------	---------	---------

(単位：円)

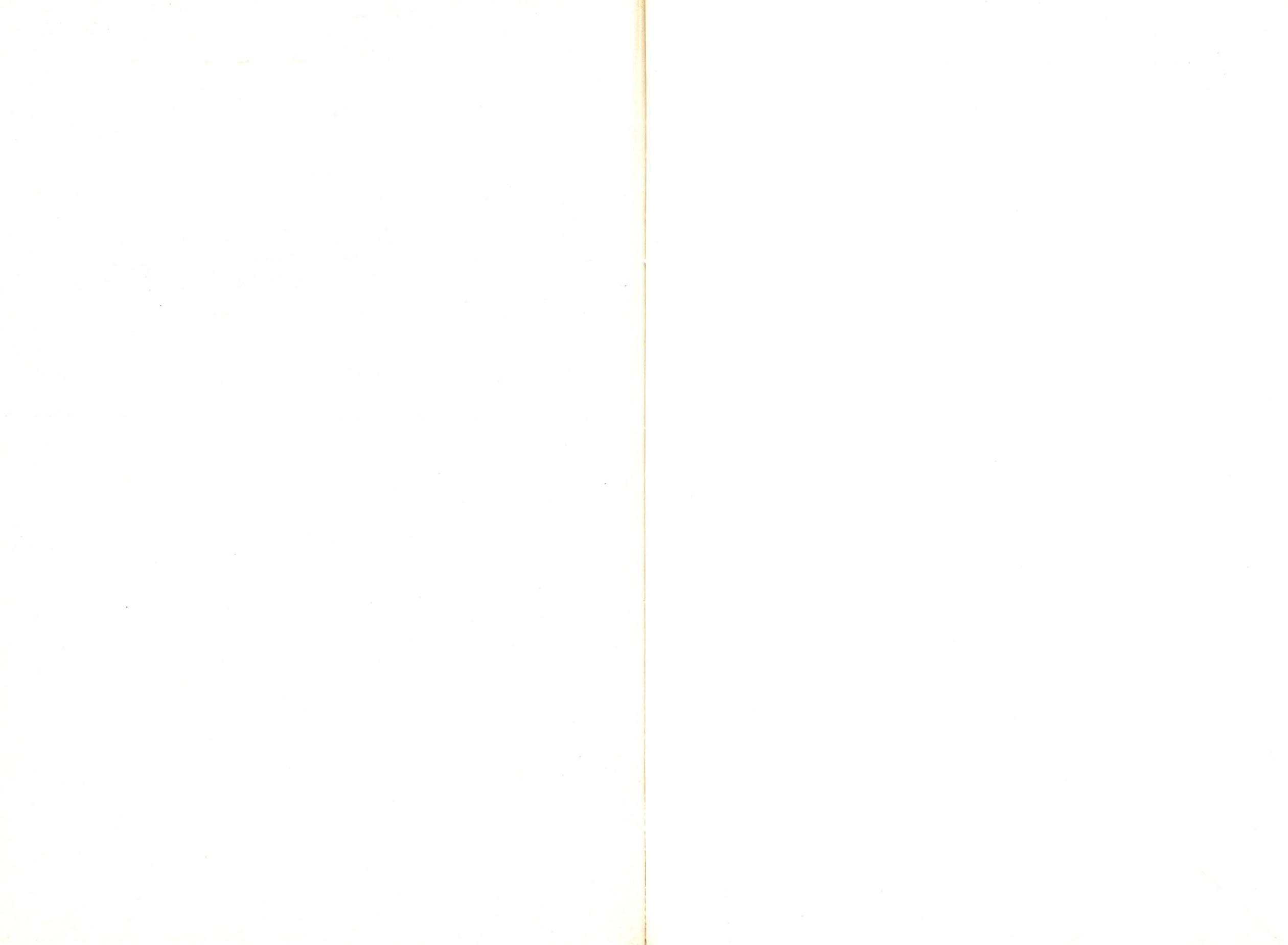
区分 月	当月貸付額	当月償還額	当 月 末 貸 付 残 額	当月末現金	貸付件数	償還件数
4	486,000	400,000	486,000	9,514,000	3件	2
5	612,000	486,000	612,000	9,388,000	3	3
6	789,000	612,000	789,000	9,211,000	4	3
7	753,000	789,000	753,000	9,247,000	4	4
8	782,000	583,000	952,000	9,048,000	4	3
9	603,000	776,000	779,000	9,221,000	3	4
10	759,000	779,000	759,000	9,241,000	4	4
11	779,000	759,000	779,000	9,221,000	4	4
12	583,000	603,000	759,000	9,241,000	3	3
1	606,000	689,494	675,506	9,324,494	3	4
2	603,000	675,506	603,000	9,397,000	3	4
3	544,000	603,000	544,000	9,456,000	3	3
合計	7,899,000	7,755,000			41	41

平成4年度 土地開発基金運用状況報告書

(単位:円)

前年度末 基金の額	左 の 内 訳			決算年度中 の 基 金 増 加 額	左 の 内 訳		決算年度末 基 金 の 額	決算年度中 の土地売却 収 入 額
	土地保有額	土地取得事業 特別会計へ貸 付中のもの	運用残額		一 般 財 源 積立額	運用収益 積立額		
A(B+C+D)	B	C	D	E(F+G)	F	G	H(A+E)	I
845,952,668	91,382,086	0	754,570,582	31,438,396	0	31,438,396	877,391,064	0

決算年度中 の土地取得 事業特別会 計貸付回収 額	決算年度中の 運用対象額	決算年度中の 基金運用額	左 の 内 訳		決算年度末の基金の内訳		
			土地取得額	土地取得事業 特別会計への 貸 付 額	土地取得額	土地取得 事業特別 会 計 へ 貸付中の もの	運用残額
J	K(A+E+I+J)	L(M+N)	M	N	O(B-I+M)	P(C-J+N)	Q(D+E+I-L)
0	877,391,064	380,950,000	380,950,000	0	472,332,086	0	405,058,978





## 正 誤 表

平成4年度主要な施設の成果・基金の運用状況

197ページ下から1行目

正	誤
<p style="text-align: center;">(△) 4,313円 - 1,353円 = 2,960円</p>	<p style="text-align: center;">4,313円 - △1,353円 = △2,960円</p>